京城日報

袁總統危篤

袁總統は四日以來容態變じ危篤に陷れり(北京特電)

倪嗣冲岳州に向ふ

兵二萬を率ゐて南征
=兩湖震駭人心恟々

南京訪問後漢口に著し江岸停車場より上陸安武軍を檢閲せる上武昌に於て王占元と會見し謀議を凝しつゝありし安徽將軍倪嗣冲は袁總統の命により兵二萬を率ゐて湖南討伐の征途に上り先づ岳州に入らんとす之が爲湖北及び湖南省城長沙震駭し人心恟々たり(東京電報)

列國の干渉か

列國は支那の現狀に對し憂慮を懷きつゝあり早晩何等かの形式にて干渉を開始するに至るべしと觀測さる(東京電報)

工場法勅令修正案

六日の閣議に於ては樞府案に基く工場法施行勅令修正案をも附議決定せり(東京電報)

佛領總督一行

佛領印度支那總督ルーム氏一行は五日夜春洋丸にて到著し六日朝上陸阪神地方を視察し同夜横濱に向ふ氏は其の使命たる日本と佛領印度支那間の通商貿易に關する斡旋問題に付語るを好まず東京に二週間滯在し日光京都、奈良に遊び神戸より春洋丸に便乘北京經由西比利亞鐵道にて佛國に歸るべしと(大阪特電)

金融界依然閑散

金融界は依然として閑散の狀態を持續しつゝあり(東京電報)

露國銀行に預金

各保險會社にては多額の遊金を擁する關係上盛んに露國銀行に對し預金を爲し居れり(東京電報)

定期米大暴落

五日定期米大暴落し堂島仲買中破産者を出せり(大阪特電)

時局と在滿邦人の態度に就いて

奉天に發生せし張將軍爆彈狙擊事件と共に我が南滿工業學校撫順分校生徒六名が北陵見物の歸途此の騷動の渦中に捲き込まれ城内圖書館附近において折柄血眼になりて警戒に當れる支那兵のため亂打凌辱せられたる事件は奉天領事において事實調査の上去月三十一日公文を以て支那官憲に抗議を提出したるが如何に非常識の支那兵とはいへ又如何に混雜の場合にて事の判別に冷靜なる能はざりしとは云へ日本學生を捕へて恰も犯人嫌疑者なるかの如く取扱ひ故なく毆打凌辱を加ふると云ふ道理あるべからず乃ち之を某友人に糺せしに近來支那の動亂と共に滿洲方面にも多數の革黨員入込み此間には多少の日本人も混入し居る形跡ありとは支那官憲の常に口にし居る所なれば奉天爆彈事件發生に就て彼等は直覺的に必然革黨員の所爲なりと斷じ而して日本人も混入し居ると云へる彼等の推想と共に日本の青年學生を見て非常警戒中の折柄にもあり直に之を誰何せしに血氣旺なる學生の事とて之れに抵抗せし爲め益々支那兵の反感を助長し遂に毆打凌辱の不幸を招ぎたるものに非ざるかと思考す、勿論其の結果に就ては飽まで抗議せざる可らざるも此間複雜なる事實の存在を否定し難しと時節柄左る事情もあるべし猶ほ在滿邦人の中には常に支那人を輕侮し支那人と接觸する上に極めて不穩當なる措置態度に出づる者も尠からず之が爲に支那官民の反感を招くこと鮮少ならず奧地在住邦人の内往々支那人の爲め毆打、投石、包圍、嘲笑其他の凌辱を加へらるゝ者あるは彼等支那人の無智頑冥なるにも因れど一は邦人の態度その宜しきを得ずして兎角彼等の反感を煽るが如き行爲に出づるが爲なり先頃長春附近において馬賊の爲に襲はれたる某邦商ありしが其の馬賊といふは實は馬賊に非ざる附近支那人の徒黨にして是等支那人は常に邦商某の態度に惡感を懷き居たる結果遂に此の亂暴なる所爲に出でたるものと判明せり其他此類の事實枚擧に遑あらず一面より云へば在滿支那人の排日感情は在滿邦人の態度宜しきを得ざるより來れるものにて邦人自ら招くものと謂ふも過言にあらず殊に支那大に亂れ東三省にも革黨員其他のもの入込み支那官民の神經著しく緊張し居れる今日在滿邦人たるもの深く其の言語及び態度を愼まざれば益々彼等の感情を煽り不祥なる事件を頻起し日支國交上忌むべき結果を招來せんと言ふ者あり(大連)

二部長會同(第二日)

各道第二部長會同第二日は前日に引續き六日午前九時より總督府第二會議室に開會、寺内總督、山縣政務總監、關係各部長官、局長、課長等出席し、荒井度支部長官統裁の下に直ちに日程に入り午前は諮問、午後は事務の打合せありて午後四時閉會したり

定例長官會議

六日は定例長官會議日なるも第二部長會同の爲め午前は支障あるより午後二時開會、寺内總督、山縣政務總監以下各部長官、局長等出席し重要政務に就き協議打合せの上午後四時散會せり

勳章傳達式

總督府にては六日午後一時より總督室に於て勳章傳達式を擧行し、山縣政務總監、兒玉總務局長、森、高橋兩武官、久芳人事課長、池邊秘書課長等列席の上過般の敍勳者中左の諸氏に對し寺内總督より頭書の如く勳章を傳達したり

勳二等瑞寶章 京城鐵道長官 松永武吉
勳三等瑞寶章 參事官 膳鉦太郎
勳三等瑞寶章 檢事 中村竹藏
勳五等瑞寶章 書記官 亥角仲藏
勳五等瑞寶章 鐵道局技師 松田一雄
勳五等瑞寶章 土地調査局技師 中田三郎
勳五等瑞寶章 同技師 海保祐飛虎
勳五等瑞寶章 遞信局事務官 手塚榮
勳六等瑞寶章 京城專修學校長 吾孫子勝

右の内松田吾孫子の兩氏は不在の爲め代理者出頭せるが尚ほ此他の敍勳者に對して何れも地方廳に於て傳達式を擧行の筈なり

工業狀況調査

工業教育調査委員會は既に二回の會を見たるが同教育の基礎たる可き鮮内の工業狀況は尚ほ詳細ならざるものあり同調査の完成は刻下の急務なるより去月廿九日の第二回集會以來各委員は其れ〳〵手を分ちて其調査中にて本月十日までには完了の筈なれば取り纏め次第第三回の集會を催し審議の上逐次會務を進捗せしむ可しと

六日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢(郵送料前金)一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金一圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別網内一行金壹圓貳拾錢 ▲場所指定一行金拾錢增 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯(三四五番 一二一四番) 營業(三二六番 一六六番) 振替貯金口座京城三〇〇番

鮮銀手形發行

朝鮮銀行にて滿洲に發行する十錢二十錢五十錢三種の一覽拂手形は目下發行準備を進めつゝあるが多分來る十二日より在滿各支店出張所をして市場に放出せしむべく本店よりは既に手形を各店に送致したりと

指定河川發表

河川取締規則に依り總督の許可を受くべき河川は告示第百三十四號に依り七日の官報を以て指定せらるゝ筈

獻金申込者多數

明治神宮御造營に關する京城奉贊會の獻金募集は各町總代に於て夫々申込者を取纏め中なるが既に申込をなしたる者五百餘名に達し居れり締切は來る十六日なれば獻金希望者は至急此際各町總代又は府宛申込まれたしと

東拓の二部長招待

東洋拓殖會社にては六日午後七時より目下入京中の各道第二部長を千代本に招待し盛宴を張る由なるが總督府より荒井長官臨席會社よりは林井上村田各理事列席すべしと

郵便貯金規則改正

郵便貯金規則改正の件は府令第四十五號を以て七日の官報に發表さるゝことゝなれり

工業懸賞締切期

京城商業會議所にては曩に家庭工業獎勵の目的を以て金一百五十圓の懸賞募集を發表し其締切期を本月末日と定めたるが既に答案を送附し來りたる者數十名に達し居れり尚締切迄は半箇月餘の時日を有すれども答案者の回答は此際成るべく至急なるを希望すと

釜山金剛山講演

六日夜釜山棧橋倉庫にて開催されたる金剛山講演會は約七百名の來聽者あり盛會なりし(釜山)

松永長官市内巡視

松永京畿道長官は六日より十日迄管內各公立各學校等を巡視することゝなりたり其日割左の如し

六日高等女學校、日出、櫻井、光熙門外淨水場、七日南大門、西大門、居留地、八日鍾路、桃花院、九日[illegible]、壽洞、樓洞、十日典洞、貞洞、水下洞

府協議員會開會

京城府にては本年度豫算更正の件につき六日午前十時より臨時府協議員會を開會し府尹より更正案に對し諮問する所あり正午散會せり

五月の朝鮮貿易

輸移出入とも益々增進

▲貿易の概況 五月中の朝鮮貿易額は輸移出品價四百三十萬九千餘圓、輸移入品價五百八十八萬九千餘圓にして之れを前年同月に比すれば輸移出品價に於て三十二萬一千餘圓、輸移入品價に於て五十四萬三千餘圓の孰れも增加を見たり、次に一月以降累計額は輸移出品價二千四萬一千餘圓、輸移入品價二千六百四十七萬一千餘圓、合計四千六百五十一萬二千餘圓にして前年同期に比し輸移出に於て百七十二萬八千餘圓、輸移入に於て五百四十六萬餘圓の共に增加を示し、合計七百十八萬八千餘圓を增進したり

▲輸移出狀況 當月の輸移出貿易に在て(一)米は滿洲仕向好況なりしも內地移出依然不振の域を脱せず、其輸移出額十五萬六千餘石にして前年同月に比し五萬二千餘石を減じ、一月以降累計額は七十二萬五千餘石にして前年同期に比し三十六萬五千餘石を減少し(二)其他人蔘及び皮革製品に於て亦著しき減少を見たるも(三)大豆、乾鰮魚並に牛皮等の引き續き好調なりしと(四)金鑛及び沙鑛、重石鑛並に含金銀粗銅に於て增加せるに因り差引き輸移出總額に於て三十二萬一千餘圓の增進を示せり

▲輸移入狀況 次に輸移入貿易に於て(一)米及び粟は米價軟弱の折柄相變らず輸入採算の餘地を存せず、當月の輸入額は前者六百七十八石、後者一千四百十八石を算するに過ぎずして前年同月に比し前者五千五百八石、後者一萬三千七百五十一石を減じ(二)綿絲並に金巾類は春來多額の入荷ありし爲め幾分荷傭の氣味ありて前月に引き續き其輸移入を減じ(三)此他石油、木材に於て少からざる減少を示せしも(四)食鹽、砂糖、諸器械及び煙草等に各幾分の增加を呈し、殊に當月に於て加工又は製造品原料たる生皮及び熟皮の輸入旺盛にして其價額四十六萬二千餘圓を計上し其好況は結局前年同月に對する輸移入貿易增進の主因を爲せり

▲出入重要品 當月並に一月以降累計の輸移出入重要品價を示せば左の如し

輸移出重要品(圓)

品名	五月	一月以降累計
米	一、七二九、八八八	八、〇七二、一一一
大豆	三二九、四四三	二、〇二四、〇八五
其他豆類	一、八五二	二八、七八五
鮮魚	九、八七八	一〇四、三八一
乾鰮魚	九〇、九五八	一八四、七九二
人蔘	一、一一一	五、九七三
棉花	四八、九五一	一、〇九二、五六〇
繭	五一	四六、四二六
金鑛及沙鑛	二七一、二九八	六〇七、八九八
鐵鑛	六三、四三八	一七二、六五九
重石鑛	二八四、七五九	七四〇、九四二
石炭	二〇、五九四	一八七、六八三
含金銀粗銅	四三九、九四七	一、二三二、七〇二
牛皮	二三九、一八〇	一、五五五、九四四
皮革製品	二七、七七七	三五、二三九
煙草	三一、九八八	一五九、五〇六
生牛	二〇、七八四	一六三、六七三
木材及板	二九、四〇四	一六九、四五九
其他諸品	六六八、三七二	三、五七七、五六九
合計	四、三〇九、六五三	二〇、〇四一、三九七

輸移入重要品(圓)

品名	五月	一月以降累計
米	九、六五四	二三、一六六
粟	九、五九一	一七、三九二
小麥粉	七一、五七九	四一二、三〇四
食鹽	一六八、九六四	三六一、〇〇一
砂糖	一九六、一七三	七五三、八七五
石油	一一一、九六二	四三一、四八五
繰綿類	一一一、〇〇五	一一九、七九一
綿絲	六七、三九三	[illegible]
生金巾	二六四、四二一	一、九八二、四三二
晒金巾	七八、〇四六	一一〇、三九二
天竺布	三六、四五八	一八九、一九七
綿繻子類	八、二一二	一八五、九一六
日本木綿	二一、三五九	一、〇〇六、八一九
支那麻布	一〇三、八六三	七四八、二二七
毛織物	三四、三九七	二四一、六〇六
絹織物	四一、〇四三	五一四、六一二
交織布	一〇、〇八一	四八、六三五
洋紙	三八、三九八	二八九、七一一
其他の紙	九七、六六九	四三四、五七八
鐵	七二、四三四	三三二、八七二
鐵條及管	二七、六三八	四九、九六八
軌條及附屬品	一七九、三〇四	三八八、一九七
鐵道用機關車	四五九	六、二五二
諸器械	一四九、六一五	四六七、一四九
煙草	七五、二〇七	二〇四、九二三
石炭	一七〇、三九八	六八六、五四四
木材及板	一三〇、一一四	四〇一、三九一
セメント類	八八、三一二	二七〇、一八六
叺及麻袋	四六、二五八	二六二、六六四
マッチ	一四、一二〇	三八七、二四四
[illegible]	一一、四二二	二七三、六九二
小包郵便物	三四八、四四六	一、五八九、二九五
其他諸品	二、九〇五、二一〇	二〇、九七六、六二八
合計	五、八八九、二一五	二六、四七一、二二六

▲港別貿易額 當月並に一月以降累計貿易額を港別に示せば左の如し

輸移出(圓)

港別	五月	一月以降累計
仁川	四二〇、六五五	二、三二八、一三三
釜山	一、五〇一、五三四	六、九四〇、七六四
元山	三四〇、二八一	五〇七、〇七七
鎭南浦	九〇二、五六五	二、七七〇、二五九
京城	一七〇、四四〇	六七三、三七二
群山	六三八、八三七	三、一一四、九九九
木浦	一九七、五〇七	一、七九四、五三九
大邱	一〇、七四〇	九九、七八〇
馬山及鎭海	一〇、二七八	五〇、一六四
清津	四〇、九七二	一二七、二四三
城津	一七、四七九	三三六、九一二
新義州龍岩浦	三三四、二一七	一、〇八八、一五三
平壤	三九、二五八	二一四、〇〇二
合計	四、三〇九、六五三	二〇、〇四一、三九七

輸移入(圓)

港別	五月	一月以降累計
仁川	一、二七〇、一五三	六、七三〇、一五二
釜山	一、二一六、四三〇	六、一〇三、九八一
元山	二一八、二六九	一、四三六、九三三
鎭南浦	三六〇、六四二	—
京城	一、三二二、〇〇二	—
群山	一五六、五四六	—
木浦	一一〇、五九八	—
大邱	一九四、六九八	—
馬山及鎭海	一〇一、一六三	—
清津	三〇八、一三〇	—
城津	五七、一八一	—
新義州龍岩浦	三〇九、七三四	一、〇二一、三二八
平壤	二六二、四八九	一、一六八、一七七
合計	五、八八九、二一五	二六、四七一、二二六

京城通關貿易

五月中の京城通關貿易は輸移出十七萬四百四十圓輸移入百三十二萬二千零二圓にして前月に比し出に於て約三萬二千圓入に於て十萬圓の增加を示し居れり而して輸移出の重要品は依然牛皮を最とし七萬二千八百圓に及び煙草一萬三千圓又輸移入の重要品は生金巾及びシーチング八萬五千八百圓日本木綿四萬圓洋紙及び紙類の五萬圓煙草五萬四千圓靴及び履物の二萬五千圓等なり

軍司令官歸任

豫て各部隊檢閲の爲め南鮮地方へ出張中なりし井口駐箚軍司令官は豫定の通り五日夜八時五十分龍山著歸任したり

宇垣少將行程

參謀本部々長宇垣陸軍少將は高橋砲兵大尉を隨へ六日午前九時廿分南大門發元山へ向へり永興灣要塞視察の爲め二泊八日午前元山發同午後五時二十二分南大門歸著、軍司令官に敬意を表したる上同午後七時五十分發列車にて出發南下鎭海に向ひ同地二泊にて要塞視察の上歸京の豫定にて軍司令部よりは松井少佐案內隨行せり

參謀旅行團一部

滿洲に於ける參謀旅行を終り宇垣少將に隨ひ入京せる參謀本部員馬淵步兵少佐は五日夜、服部騎兵少佐は六日夜共に宇垣少將とは別行動をとり南大門發歸東の途に就けり

軍司令部員移動

軍司令部附工兵大尉中村良雄氏少佐に昇進し補せる後任として豐橋工兵第十五大隊より工兵大尉高橋毅一氏來任する事と成り同軍計理部員一等主計長捨吉氏は弘前第八師團經理部附に轉ずる事と成れり

古海總長令兄逝去

豫て病氣加療中なりし古海警務總長令兄古海深志氏は藥石効なく終に五日朝大阪府下豐能郡豐島村石橋に於て逝去せり因みに總長は歸省せずと

辭令

五日附を以て左の通り辭令ありたり

京城女子高等普通學校教諭兼京城中學校教諭京城醫學專門學校教諭 西澤勇志智
免兼京城中學校教諭

●倉參與官管內視察 京畿道參與官は管內狀況視察の爲め六月二日加平郡に出張中なりしが六日夜一先づ歸任し七日朝出發抱川郡內の教育道路其他の視察をなすべし

●中村鮮銀囑託出張 朝鮮銀行囑託技師工學士中村與資平氏は奉天出張所上棟式に臨場の爲め六日午後九時南大門驛發列車にて出發す可く歸京は十二三日頃なる可しと

仁川

▲仁川機業場開設 昨年十月京城恩賜授産場機業講習全科を修了したる仁川府居住者李貞順外三名は今回恩賜授産の趣旨に依り産業開發の前驅たらんことを企圖し京城授産場長の賛助を得機業織器數臺の貸付を受け同時に獨立經營し得る時期まで原料絲等も同授産場より供給を仰ぎ設備に就ては仁川の丁致國張錫術兩氏等有志の賛助を受け仁川府栗木里元府內面々議所事務所跡を府より年十二圓にて貸付を受け不日機業を開始すべく目下準備中なり

▲商議評議員會 仁川日本人商業會議所議員たりし稻田勝彦加來榮太郎北島讃三美濃谷榮次郎阪倉伊平の五氏列席の上評議員表彰の件に關し七日午後二時より仁川商業會議所に於て協議會を開催すべし

▲仁川近海漁況 仁川近海に於ける五月中の漁況を聽くに例年同月初旬より活動の時期に入りて上半年中六月に亙ぐ盛期なるに拘らず本年は氣候順調ならざる爲め最も漁獲の多量なるべき蝟島の石首魚竹島の鯛漁の如きは近來稀有の不漁にて同月中の總水揚高一萬一千三百五十七圓にて其貫目一萬四千四百貫なりし

大田

▲會計檢查官 會計檢查院今泉檢查官は屬官三名を伴ひ四日午後三時二十五分大田著同五十五分發列車に轉乘し金泉に向へり

▲農業指導 懷德郡にては種籾播付け時期に於て水潤澤なりしと氣候適順なりしとにより發芽後の成績良好にして既に三四寸以上になりたるものもあり未だ害虫の發生報告に接せざるも豫防の必要あるを以て技手を本月始めより各地に派し螟蟲驅除其他の實地指導をなし居れり

▲面長打合 懷德郡廳にては五日午前十一時より各面長を召集し庶務財務より施政上に於ける打合せ會を開けり

▲金貸業者 大田に於ける銀行會社を除く金貸業者は確實なる數を擧げ難きも大略二十人內外なるべく是れ等の放資額も又確實なる數を知り難きも十五萬以上二十萬以下と見れば差支へなし、金利の如きは日步最低五六錢より七八錢最高十一二錢所にして抵當權の設定しを得るもの程低利にて融通を受くる事を得決濟期は二箇月を普通となす如し、然して是れが利用者は鮮人三分內地人七分の振分なり

▲驛乘降客 大田驛に於ける五月分乘降客は乘客六千九百六十八人降車六千九百五十七人此の賃金八千七百七十圓四十九錢にして是れを前年同期に比する時は乘車九人を減じ降車三十人を增し賃金に於て八百二十八圓五十六錢を增せりと

▲張氏出發 大田漢城銀行支配人張副支配人は今回同行開城支店長に榮轉せしを以て五日午後五時出發赴任せしが關係銀行及官民の見送り盛んなりき

光州

▲全南麥作豫想 本年全南の麥作は四月中旬雨の爲め多少穗孕を沮害され五月上旬風の爲め損害を受けたるも其後の天候適順にして成育比較的良好なるが今各郡の收穫豫想高を聞くに總計大麥百七萬九千九百六十一石小麥十萬二千五百五十五石にして前年に比し大麥二分五厘小麥三步二厘の增收なりと

▲和順間道路 和順南平間二等道路三里三十町は本年度豫算に計上されて居れるが近く起工すべく長谷川土木主任工手を隨へて實地の踏査及び測量の爲め出張したり

▲光州公會堂協議 三日光州重なる有志は學校組合に參集して光州公會堂建築に關する協議を遂げたり

▲松汀里居住者激增 松汀里新興里の鐵道改修及び近く德川家の水利工事著手さるゝに付いて同地は非常に景氣付き日本人の居住者は日々增加しつゝあり

▲弓削課長來往 弓削學務課長は一日入光各學校其他を視察し三日朝出發羅州松汀里に向ひたり

釜山

▲商業學校新築 釜山公立商業學校は今春三月火災に罹りし以來同府龍頭山下の假校舍に於て授業中なりしが同校にては今回新たに草梁の舊校舍跡に校舍を建築することゝ決定し數日來之が設計中なりしが同設計も既に大體完了せしを以て本月下旬若くは來月初旬より工事に著手の豫定なるが其の豫算は約一萬圓總建坪四十五坪にして三四箇月中に落成の豫定なりと

▲佐々木道長官來釜 慶尙南道長官佐々木藤太郎氏は金海より五日午後二時廿分著列車にて來釜大池旅館に投宿せるが豫定の如く六日より道廳の原水產技師を從へ水產組合巡邏船江慶丸に乘じ慶南道內沿岸各漁場各漁村を視察する由にて日程は多分十日頃歸任の途につく筈なりと

▲鈴木馬左也氏出發 住友銀行重役鈴木馬左也氏は五日午前來釜停車場ホテルにて休憩の後草梁釜山鎭方面を視察し直ちに稅關ランチにて港內を巡視し更に金曜會主催の歡迎會に臨み午後八時半發新羅丸にて內地へ向ふ

人事消息

▲鷲尾侯爵 七日午前九時南大門發平壤方面へ
▲中村純九郎氏 同上
▲赤井米義氏(大邱覆審法院檢事) 入京中の處六日朝退京
▲向井嚴氏(平壤覆審法院檢事長) 同上
▲川村大尉 同上
▲神林啓太郎氏(咸興炭礦取締役社長) 六日朝入京旭屋旅館へ
▲芋川釜山典獄 入京中の處六日朝退京
▲中村公州典獄 同上
▲永田咸興典獄 同上
▲今泉國太郎氏(會計檢查官) 一行四名五日午後釜山著大池旅館に投宿
▲大築隆氏(鹿島組海軍少佐) 五日午前內地より釜山上陸鎭海へ
▲目黑孫四郎氏(慶南局) 同上
▲三浦彌五郎氏(瑞西公使) 同上赴任の途馬山へ
▲玉木貞次郎氏(釜山運輸支部長) 五日午後任地より內地へ

京城府公文 添附

牡丹臺雜目 無佛 陳人
牡丹臺上四縱觀。入望江山氣字寬。敬羨徒軍爲往夢。空看勝壁半荒殘。
箕子廟偶吟
千年翠色護祠堂。遺吊低回萬感長。古老猶傳井田趾。稼耕垂教仰餘光。

鳥人の訣別飛行 東宮殿下の台覽

過般青山に於ける耐風レコード飛行後關西方面に去つた鳥人スミス氏は再び帝都の空に返り咲きして三日又もや青山の空に

▲得意の空中舞踏 を演じた初夏の日射し輝き溢れる飛行場は中央に圓周四分の三哩の大トラックを殘して一杯の人で埋まり飛行開始の二時迄には觀衆約八萬と註せられた先づ午後正二時より前後二回の豆自動車競走があり同四十分格納庫內なる新造のカーチス複葉は場の北側に曳き出され鳥少年スミス氏はカーキ色の脊廣に辨慶の鳥打と云ふ輕裝で機上の人となる斯て正三時機は南方五米突の風に向つて急角度に昇騰し場を右方に廻轉する事二回離陸後五分間にして千二百米突の高度に達した時

▲機翼の一端より 一條の虹の如き黄煙を吐きつゝ見る〳〵間に機首を轉じて宙返つた、夢の如く搖はる黄煙の渦卷の中に極度の小圓を描いて逆轉する事連續十回、三回の橫轉に移り尚逆轉六回、橫轉二回して三百米突に降り又もや三回の宙返りを爲したる後三時十分頗る安易に着陸した次いで二回の豆自動車競走があつた後四時半第二回の飛行が開始された、機は一千米突の高度に達した時連續四回の逆轉を爲しつゝ八百米突の空に降るや此處にて

▲機首を眞逆樣に 立てつゝス氏獨得の獨樂飛行に移り空中に華やかなるダンスを演じながら一氣に五百米突まで低下し更に直下飛行に轉じて地上五米突まで落下したがアワヤ地上に衝突せんとする瞬間機を水平に復し其れより豆自動車の出發點に直進して地上一米突の最低空を半圓を畫きて二週し四時四十一分歡呼聲裡に着陸した尚四日は東宮殿下午前九時青山御所に行啓午後二時より兩皇子殿下と共に飛行臺覽ありたるを以てス氏は同時刻を見計らつて青山御所上に飛行し各種の冒險飛行を台覽に供せり(東京)

三日間の閉店命令 長春城內寂寥を極む

奉天の爆彈事件ありし以來長春城內及び商埠地の警戒は益々嚴重を極め支那稽查隊は旅館及び妓樓に對し臨時檢查を開始し旅館及び妓樓は大恐慌を來しつゝあるが尚密偵等は長春附屬地に數多の革命黨潜伏し居るとの誤報を傳へたるより又々支那官憲は狼狽し商埠地及び城內の各商戶に對し二日より四日まで三日間附屬地に於て日本軍隊が演習を爲すべければ各戶を閉ぢ業を休めと命令を發したり依つて各商店は陰曆節句の多忙なる折柄なるに拘はらず何れも閉戶し全市寂寞の觀あるが斯る命令は新舊市街の交通を遮斷し支那人の檢査に便せん爲めなりと(長春)

ヴエルダン要塞の肉壁 ……佛軍第一線……

平壤名物妓生學校を訪て

□妓生になるまで―三年間の苦心□

□水の都の平壤に來て、美人の產地の平壤に來て、美しい妓生をのせた轎駕を見物し、うまいキムチーのお汁をかけた平壤そばにありついた自分は汽車を待つ間に妓生學校へと志す

□『木伊乃さりには御用心!』と宿の番頭さんから背中をゴンとやされて『夜の參觀は駄目でせうか』と伺へば『校長先生に願書を出して御らんなさい』とあくまで揶揄かされる

□ホントに夜は駄目なのか知れんと案內の朴さんにモシ〳〵とやると『チリン〳〵!!今晩はネエ、端午の節句で雨もタンダニワツソだが學校の方は大丈夫だからおいでなさい』との返辭、玄關を出ると俥の幌には雨がおざる

□暫くの間平壤の街をひきまはされてやがて江岸大同門に梶棒をおろさせると朴さんは雨の裡に一人提灯をもつて『モ少しさきまでおいでなさい……』

□軒のガス燈に新倉里とかいた狹いドロ〳〵の街を幾めぐり、危く泥陀佛にならうとしながら暗い小路を行き行くと、とある門內に尺八の音が響く

□『今晩は!』てなことを言ひながら狹い門を跨ぎ入る朴さんに跟いて行くと狹い溫突には五六人の若い衆が居つて入口には轎駕よろしくの木履が幾艘も雜々然として居る

□轎駕の主は皆先生か?と朴さんに鳥渡伺ふと『否!否!、それ等は遊藝に浮身をやつす道樂息子でござるあれなる赭ら顏のでつぷり肥つた御仁が李逵華と稱する八絃琴の先生。お次が舞のお師匠金恩憲、これなるが唄の名人金淌史先生…』

□そして妓生は?と訊けばお生憎樣にも今夜は此處には一人も參らぬ、若し見物したければ朝の十一時頃から午後の四時頃までの間においでなさい、その時なれば十六七を頭に十二三歲までの妓生の卵が此處でいろんなお稽古をします……』で大失望!!

□『また此の諸賢天井の中庭では皷と笛に合せた舞踊の少女が譜のやうで次ぎに漢詩の勉强から繪筆をなめる處もお眼にかけたいが直ぐお立ちとは止むを得ない

□兎に角朝鮮の妓生といふ妓生は前後三年の修業を此の家でつまねば天晴れ一人前とは言はれません……と飛んだ先生のお自慢に感心しながら門を出た、江岸の車上千鳥がなくかと水面を見れば遙か對岸寺洞のあたりに紅い灯火がチラリ〳〵雨はまだ降つてゐる(金南)

十數日間の漂流 濟州島の住民=生米で命を繫ぐ 上海の沖で支那漁船に救はる

朝鮮全羅南道濟州島古在面杏源の高達權(五七)金珉必(四十)康元淑(三七)の三名は去四月十四日朝右三名は一隻の帆船に乘り組み日本里程百里餘の全羅北道商長へ赴き同二十日まで滞在し漸(十七圓程)を

▲滿載して歸航 の途に付けるが濟州島に近付ける時水平線上に現はれたる黑雲は見る〳〵內に大暴風を起しあれよ〳〵と云ふ間に件の艀は全部浪に攫はれ木葉の如くに舟は搖られて海水は浸入し食物の大半は大波に持ち去られ只々神に祈るばかり手の下し樣もなき狀なりしが折柄風は一層に强く烈しくなり帆柱を折り帆布を吹き飛ばして荒れたる海神も風神も流石に二十四日朝には靜まりたるがそれより三名の者は船を

▲操縱する帆布 を奪はれ帆柱は折られたるより運を天に任せて十日間は僅かに殘りし生米を以て生命を繫ぎて大海に漂流し居る中支那漁船に發見され救はれたるが蘇生の想ひを爲す間もなく爾後一箇月間も漁船內にて使役され上海を南東の沖合にて漁業を爲し去る二十八日該漁船の浦東に著せるを以て上陸し直ちに上海總領事館に保護を願出たるが右三名は三日發の八幡丸にて門司まで逆送されたり(上海)

山林三十六町步の燒失 金剛山大火損害

去る二日午後十時出火し四日午後三時四十分に至り漸く消止めたる金剛山中の火事に就き其後聞く所に依れば燒失面積神溪寺所有林約十二町二反餘步國有林約廿四町六反餘步也と

汽船と衝突して沈沒 漁夫三名溺死

朝鮮郵船會社雄基門司航路就航船貴海丸(七百八十噸)は五日午前四時頃釜山を北に距る約八哩覩山に近き海上にて濃霧深かりし爲め折柄航行中の一汽船と衝突して之れを擊破したるより直ちに停船して其の救助に盡力せしも乘組員四名の中三名は遂に行衞不明となり殘り一名及び漁船漁具を同船に收容救助せりと

飛行隊宙返飛行に成功

所澤陸軍飛行隊に於ては宙返飛行に成功し新記錄を作れりと(東京電報)

新羅丸の延著

濃霧にて五六島に假泊

五日午前入港の新羅丸は四日夜來の濃霧の爲釜山港外五六島附近迄航行し來りたるも港口附近にて濃霧の爲め航路を失し已むを得ず同島附近に假泊無線電信にて西部管理局釜山派出所に「瓦斯の爲め牧の島燈臺東約四ケーブルの所に假泊す港內模樣如何か直ぐ返事」との問合せありたるに依り直に「港內霧薄し今より東萊丸を出港せしむべし」との返電をなしたり(釜山)

連絡船の缺航

六日朝釜山發の關釜連絡船對馬丸は定刻出港したるも前夜來の暴風雨に揭て、濃霧の爲め航行不能となり途中より引返し釜山港に假泊せり(釜山)

電車から飛ぶ

京城中林洞李根(二)は六日午前十時過頃南大門外を進行中なる京城電氣株式會社の七十一號電車より飛降り左足後頭部等に輕微の擦過傷を負ひ目下自宅にて加療中

街の並木 ▽街路樹の條件を ▽見たプラタナス

回一體街路樹には如何なる樹木が最も適當して居るかと云ふに大體左の條件を具備したものでなければ不可ぬ

回生存力の旺盛にして成育の速やかなるもの、枝葉の形態美なるもの、夏繁り冬落葉するもの、且つ其の葉は成るべく一時に散落すべきもの、果實を著けざるもの等であつて且つ其の枝幹が强靭であらば之れに越した事はない

回生存力が旺盛でない樹木は街路樹として適當でない街路樹は形の整美其他の必要から時々幹や枝を甚だしく切り取られる事が有る

回斯んな場合に直ぐに其の疵口から黴菌が侵入すると萎縮したり枯れて終ひまた人家稠密な車馬往來の市街は樹木の成長に適して居らぬから餘程强質の樹木を撰ばなければ不可ぬ

回又街路樹は其の枝葉等が餘り手入をせなくても其の形態が可成り一致して美觀を持つて居なければ不可ぬ

回また其の樹は夏はよく枝葉が繁りて涼しい陰を作り冬はよく落葉して道を溫めて呉れるものでなければならぬ

回又其の樹は雌銀杏の如く又栗の如き果實を結びその爲めに往來を防げるが如き樹種ではよくない

回然らば之等の條件を具備した樹木は何んであるかと云ふと近來東京市街でよく植始めた、プラタヌス俗にプラタナと云ふ樹が比較的前記の條件を具備し街路樹として理想に近いものである

回プラタナは其枝の形美しく且つ成長迅速にして葉は楓の如く大に幹はポプラに似て更に光澤ありて滑かである

回伊太利のミラン公園附近には千幾百年を經たるプラタナの街路樹が亭々と繁茂し如何にも幽邃閑雅である羅馬巴里伯林等何れもプラタナと菩提樹との街路樹が茂つて居る

回西洋各國の主要なる都市の街路樹は道路の中央に二列に並列し人道は並木の中に在り其の左右に車馬道を設けて在る

回舖石をしてある街路に有つては樹根の下に金屬製の輪を置くが其の置輪の直徑は八尺以上も有つてそれには雨水の浸透する設備がして在る

回京城の如うな新らしい市街に在つては街路樹速成の爲めにポプラやあかしやの如き木を植ゑるのも又止むを得ない次第であるが今後は成長方法を計らないと將來立派の街路樹に仕上げる事は困難であると思ふ(某篤志者談)

六新荷
月音
號譜著

京城本町 日本蓄音器商會

京城に何が欲しいか

『京城に何が欲しいか』といふ問題に對して各方面から希望された欲しいものと投票の數とは實に意外の多數に上りました。然し折角希望されたけれども餘りに抽象的なるもの、甚だしく民度と懸隔して居るもの、民情に適せずと思はれたるものなどは暫く御預りとして表の內に加へません。また言ひ表し方が違ふ丈けで內容が同一と認めたるものは統一して置きました。其結果が左表の如くなつたのであります。これに依つて京城市民の希望する大體が分る樣に思はれます。然し乍ら投票の數の多少のみを以て眞の緊急を要する欲しいものであるか何うかといふ事を決することは出來ますまい。それで此結果に對し、見識ある有力者の意見を叩き、一方に於ては隱れたる有志家の投書を引續き發表する事にいたします

公會堂	一、〇三二
一般的日鮮人社交機關	九八七
本町の雜沓を防ぐ爲めに車馬の交通を制限する事	九七八
圖書館	九六二
美術館	九四七
劇場	九一八
私立中學	九〇六
スクエーヤガーデン	七八九
遊園地	七三五
本町筋より新龍山へ通ずる南山麓の隧道	六九七
公園に兒童の運動機關設備	六七八
出火警鐘	六五三

購買組合五六一▲私立女學校五一一▲勸工場四二八▲漢江短艇レース四二六▲東洋拓民大學四二二▲市內に撒水を完全ならしむる方法一七三▲米穀株式取引所四一▲汚物汲取時間を冬季は午前九時夏季は午前七時迄とする事三七▲京城案內所一四▲米穀株式取引所十八▲不動產金融機關一

●檢査役の改選 東京相撲協會の檢査役改選は三日午前八時より……辭任を申し出でたる緞山は監督と云ふ……

……る爲め數百の漁船密集し商買も俄に……し居れるが……

▲六月七日 曇後晴

(世界的)煉香油(萬人向)

パール

髮の培養にパール煉香油をおつかひになれば黑くつやを增し房々と軟かに其芳香は又格別です

本舖東京 平尾銑也商店
關西代理店大阪 平尾贊平支店

山村事件落著 居所知ラセ乞ス

Family Hotel.
佛國式料理 宿泊 宴會
本舘は市の中央にあり土地高層、庭內廣く閑靜にして宿泊及び宴會には最も好適す
京城南大門通三丁目 米國東洋工業會社邸內ゾンタクホテル改
ファミリーホテル
館主 ミセス、ボーエル 電話一二一八番

北海道產 海產物 雜穀 輸出商
小樽區港町本通 丸大杉商店 電略「ヲス」又ハ「ヲ」

父重知儀病氣の處昨夜九時死去致候に付此段生前辱知諸士に謹告仕候也
追て葬儀は來る七日午後五時途中行列を廢し旭町護國寺に於て執行仕候尙造花放鳥等は遺言に依り堅く御辭退申上候也
大正五年六月六日
男 弓場重榮
親成總代 弓場重嘉 弓場重光 吉田彥一
友人總代 中村再造 古城菅堂 島田房太郎 藤村忠助 馬場喜久治

葬儀請負 供花御寄贈品一式
京城本町二丁目(壽館橫) ㊊朝鮮葬儀社 電話五六二番

電話一五六七番
旭町二丁目(京城府廳橫)
株式會社京城葬儀社
二頭曳靈柩馬車の設備有之候
中河原重吉 井上芳太郎
電話九五七番

葬具一式
造花、生花、花環、寄贈品裝飾品、其他供物一切
親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候
京城永樂町二丁目 大葬社 電話一〇五六番

平壤の少女

●質素で働らく

□花と野菜を培る□

□高等女學校生徒□

回上野校長のおはなしを伺つて居ると校長室内の柱に無造作な青竹の花活が掛つて中には夢のやうに咲いた矢車草と紅い可愛い乙女のやうな撫子の花が挿されてありました回花活の青竹はお正月の門松に用ゐた殘りで花は女生徒が自分の庭から摘むで勝手に挿して行つたものですとの説明に私は言ひ知れぬゆかしさを覺ねました、青竹の花活けは教室の方々に見當ります

回若いつばくらめが白いテニスの網をかすめて翔る校庭にはひろ〴〵とした板塀ぞひに青々とした生徒の蔬菜園と美しい生徒の花園が作られてあります

回女生徒は一人につき二坪宛の畑と一級全體共有の畑とを有つて居ます回皆一樣にさつぱりした木綿著物の少女だちは休みの時間々々に花や蔬豆を培りますそして出來た野菜はそのまゝ學校または家庭に於ける割烹の材料に持ち出されます

回『學問よりも實行の人、口さきよりも手足を動かせ』とは此の學校の標語と爲つてゐます

回新らしい校舍は今年二十三名の第一回卒業生を出しましたが生徒の中には遠く滿洲から入學した人が多いので此所こそほんとの大陸的日本婦人の出來る揺籃地とも申されませう

□御免下さい〳〵 めちや吉

ました、玄關では『御免下さい、御免下さい』『御免下さい！』と頻りに誰かお客樣が訪れて居ます。御母樣も女中も、よつちやんさへも皆出かけて居ましたので、お姉樣はとう〳〵仕方なしに猛しい姿をして玄關に出て見ますとアーラ？お客樣は宅のよつちやんで、近頃覺えた御免下さいを頻りに練習してゐるのでした。

その時、お姉さまは丁度お髮を洗つてらつしやいましたので、手を離されず、又お客樣に失禮だし、如何していいかと狂路〳〵してゐ

忝け涙に咽ぶ

恩命に浴した賤香刀自

故支那公使山座圓次郎氏の未亡人賤香刀自は過日朝香宮妃允子内親王殿下の御用掛ひを仰せ付けられました、刀自は故伯爵渡邊國武氏の息女で明治二十七年山座家に嫁し爾來相和して賢夫人の譽れ高いお方でありましたが去る大正三年五月公使病歿後ひたすら其の冥福を弔つてゐられましたのに圖らずも宮家の御沙汰に浴して忝け涙に咽んでゐられるといふことです

婦人界消息

▲淵澤能惠子女史(淑明高女學監) 鄙の手術をなさるために總督府醫院に通つて居らつしやいます

▲金香雪子(李王職事務官夫人) お姉樣永眠のため内地へお歸りの筈でしたが都合でお止しになりました

▲大山たね子(京城高女教諭) 先月内地へ轉地療養に歸り目下山口縣防府町宇野崎大山治氏方で靜養中ですが段々快方に向れて居ります

夏は香水の御用意

△其道の人の見分け方

○これから夏のあつさに汗ばむにつれて御婦人方は香水の御用意が大切となりました

○香水は御承知の通り揮發性ですから空氣や熱や光線に觸れると變化し易いものです

○これを貯へるには冷たい暗い場所に置かなければなりません、また香水を買ふ時瓶のまゝで嗅ぐのはあてになりませぬ

○一寸ハンカチーフへでもつけて酒精分を揮發せしめてから嗅ぐのがこの道の心得のある人の見分け方となつてゐます

學校新聞

○京城實生會 十一日午後零時半より黄金町清華亭に第七回會を催します

……兒童の體格標準……

小學校兒童身體檢査の際における體格の標準につき文部省の囑託を受けて古瀬醫學士が調査研究され一ケ所に身體檢査の結果と是非一度は照合せて見ると次のやうであるから皆さんが小學兒童の體格標準に達せざるものは一層身體に注意すべきは勿論食べるものも怠らず常に身體に氣をつけねばなりません ―龍山小學校―

▲男子 (年齡・身長・胸圍・體重)

▲女子 (年齡・身長・胸圍・體重)

回しま鯵のつくり身

鯵を三枚におろし頭尾小骨などを去り鹽をなし暫時にして水をかけ鹽氣を去り酢につけ置き皮をむき刺身に作り盛り合せとして胡瓜青紫蘇おろし山葵をそへ出しす、甘酢一杯の割合にてつくりたる汁にて食す

番茶のあこ

◆平壌遊覽團の爲めに牡丹臺下の得月樓といふ古い雅致ある建物で美しい妓生の舞踊が試みられました◆其の漆のやうな水々しい髮と、白い綾羅の上衣と薄い水色の裳とは誠に畫中の人物のやうで舞の態度もさすがに立派でございました◆次には浮碧樓から眞下の大同江を譲りました時江上に泛んだ水色の船に同じ水色の妓生が乘てボーン〳〵‼とのどかな鼓をたゝく時それも宛然活人畫のやうでありました◆此の事を高木齋伯に語りますと「いかにも朝鮮服は世界一である今の婦人服は恐らく古代に於て餘程の研究の結果出來上つたものであらう」と申されました

會いろ〳〵

○東洋協會 柔道大會 十八日(日曜)午後一時より同校道場にて催されます

名譽なるノベル賞金とは何か

□東洋ではタゴール氏と野口英世博士□

◇這回來朝した印度の詩人タゴール氏が明治三十六七年の頃ノベル賞金約十萬ルピーを贈られたとは世人のよく識るところでございますがそれでは此のノベル賞金とは什麽ものであるか鳥渡おはなし致しませう

◇よくあなた方が黄金町通りの三井物産會社前をお通りになると其處には恐ろしい爆藥の製造會社倫敦のノベル會社代理店の看板が見ゐます

◇ノベル賞金は實に此の爆藥と無煙火藥を發明した瑞典の理學博士アルフレッド・ノベル氏の遺言による賞金でありましてこれを贈られる人は世界の文明の爲めに大貢獻を爲したる者に限られて居ます

◇元來ノベル博士はダイナマイトによつて一擧に大富豪となりましたが其の千八百九十六年に六十三歳を一期として逝くなりましたときは約三千萬久の基本金を提供して年々その利子でノベル賞金を分配するといたしました

◇朝鮮でも昨今のやうに鑛山熱が盛んになりますと鑛山や隧道の開鑿には皆此のダイナマイトの元祖ノベル博士の恩惠に預つてゐますが別にかゝる黄金のあるのは何より奇特なとでございます

◇ノベルの基金管理局では先づ此の賞金を贈る人を醫學上の大發明、化學上の大發明、文學上の大貢獻、平和に關する殊勳者の五つに限つてゐますが毎年ノベルの死んだ十月十日の記念日に約十萬圓見當の金を贈つてゐます

◇日本では米國ロックフェラー試驗所の野口英世博士がノベル賞金の受賞者ですが米國のルーズヴエルト氏も日露講和の取持で貰ひました

◇併し一番多いのは學問の盛んな獨逸でありまして彼のコツホ博士を初め全受賞者の三分の一以上を占めて居ます

商況

東京株式特電

債券現物特電 (前日との比較)

公債直取引 (前日との比較)

深川在米特電

東京期米特電

大阪期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

下關期米特電

朝鮮物産特電

雜報

●期米暴落す 會社は愈々買方主力の動き鈍きを立證し…逐に新高値を現出す

●尚人爲的釣上 …

●砂糖益々强調 …

●金巾類持合 …

●生魚市場 …

●千瓢依然强硬 …

●身欠鰊新物 八圓見當 …

●種油引戻す …

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場

仁川期米

▲六日前場 十四圓丁度と大々的暴落入電 前場立會停止

十九錢下放れ先十二圓丁度

▲大阪停止す 大混戰の立會毎に

▲又復暴落

市場零聞

▲買方屈服乎 先限は實に未曾有の事

▲市場大混戰 遂に失敗に歸し

▲手口不明

落報に六十錢の大暴騰 買方は解合申込み

●連絡船上陸客 五日午前釜山

東京株だより

仁川米豆取引所

六日の八月限

小賣白米

白米標準値

行賀仲買店 仁川海岸町三丁目

三巴仲買店 仁川海岸町三丁目

田中金兵衛 仲買店

演藝案内

黄金館 電話二六三七

浪花館 明治町 電話二六〇番

大正館 櫻井町 電話八七三

壽座 本町 電話五七八

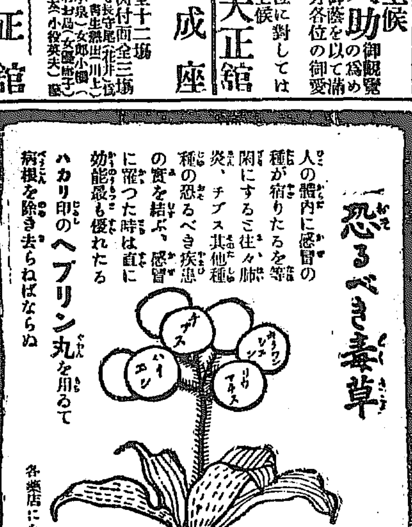
御成座 電話一二九一

特に御禮申上候 眞田大助 …愈々跡二日間限 大正館

今延商店 大阪堂島米穀取引所仲買

質 堀佐營業所 京城黄金二町丁目(永樂町停留所北入) (電話六三九番)

質 片山質舖 完全なる倉庫あり御報次第参上何品でも御預申升 明治町二丁目交番東小路



一恐るべき毒草

人の體内に感冒の種が宿りたるを等閑にするこ往々肺炎、チブス其他種種の恐るべき疾患の實を結ぶ、感冒に罹つた時は直に效能最も優れたるハカリ印のヘブリン丸を用ゐて病根を除き去らねばならぬ 各藥店にあり

●青竹 直輸入大販賣

石灰特約店 釜山材木町一丁目 島末材木問屋 電話四五〇番

◇製鹽開業披露

▲各種食鹽

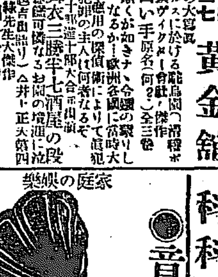
今般左記の處に於て開業特別廉價を以て御相談に應じ候間多少共御用命願上候

追而京城方面の御注文は電話九四一番に御用命を乞ふ

穀物委託販賣 龍山元町四丁目 龍山製鹽所 電話四〇七番

内科外科 小兒科 産婦人科 京城本町三丁目 今村醫院 電話一八三一番 診察午前九時より午後九時まで 院主 今村善一

小兒科 内科 京城吉野町(元仲ノ新地遊廓跡) 特に呼吸器胃腸腎臟病 腺病胎毒小兒眼疾 入院隨意 雨森醫院



家庭の娯樂

●音譜仕入は大阪音譜商會に限る

▲練習盤音譜壹等品三百回使用保險付兩面盤一枚に付(送料及箱代共)

●金參拾八錢

但半打以上に限る目録進呈

▲音譜は弊商會に於て拂底す際の方はハガキにて申込次第代金引替小包にて送る各位御安心の上種々御用命仰付を乞ふ

大阪市北區吉川町七拾貳番地 電話三〇六六 振替大阪二八二四八

發賣 大阪音譜商會營業部

保險金受領廣告

夫川上榮次郎儀豫て東洋生命保險會社と保險契約中の處今回死亡に付金壹千圓也仁川代理店高杉昇殿の手を經て正に受領致候間此段廣告候也

大正五年六月四日

仁川龍洞 川上キク

宮本武藏

第六十一回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

作州津山の城主森大内記殿の御前に於て宮本武藏と吉岡兼房との試合、宮本は吉岡の勝と言ひ、吉岡は宮本の勝といふ、兩方謙遜して居りますのを見て森大内記感心をなされ、何方へも瑕の付かんやうに相打であると仰しやつて改めて御前へ召されお杯を下さる、吉岡も以前と違つて此度はお座敷で叮重な御饗應面目を施こして居ります、其内大内記殿の仰に 大「宮本は急ぎの旅であるから強くと止めも出來まいが吉岡の方は急用がなければ當分城内に止つて家中の者へ劍術を指南して貰ひたい」といふ、吉岡も遊んで居る身體でございますから承知いたし、當分足を止めて居ります考へ、宮本は急ぎますからお暇乞をして翌日津山を出立いたしました、出立する時に兼房が 兼「さて宮本氏、岩柳といふ奴は年を老つて居るが仲々の腕前、殊に卑怯未練な奴であるから必らず御油斷なさらんやうお氣を注けなさい 武「忝けなうございます、其では之でお別れ申す何れ再會……」と吉岡に別れを告げて宮本武藏先生津山を立つて備中備後と經て藝州廣島へ乘込んで參りました、廣島は四十二萬石松平安藝守殿の御城下、繁華な地であります、武藏は先づ宮島へ參詣して武運長久を祈る、此の宮島は日本三景の一として有名な所、祀る所の嚴島明神とは天照大神の御女市杵島姫命、推古天皇の五年癸丑の年十一月十二日此島に垂跡し給ふ、時に内舍人佐伯鞍職といふ人奇瑞を見て禁中へ奏上し初めて御社殿を造立し嚴島大明神と崇め奉る後平相國清盛入道厚く信仰いたしまして修理造營をいたし御寶殿に金銀を鏤はめ百八十間の廻廊、海上の大華表目を驚かす許りに造立いたしました、春は花秋は紅葉四季風情に描くとも及ばぬといふ、太閤の歌に

「聞しより飽かぬ眺望の嚴島見せばやと思ふ雲の上人」

宮本武藏先生初めての參詣でございますから珍らしく彼方此方見物して廻廊を歩行て參りました、百八十間の廻廊、汐が滿ちて來ると欄干の下まで一杯になる、宛然海中に立てる蓬萊宮の如き言はん方なき絶景であるから武藏恍惚として居ります、祭日でございますから大層な參詣、スルと武藏の背後の方からやつて參りましたのは年頃四十二三になる一人の武家、黒羽二重五所紋の衣服に其頃流行の革袴、金銀鍔はめたる立派な兩刀を手挾んで居る、酒を飲んだと見えて眞赤な顔をして居るが眼のギロ／＼した一癖有りさうな人物、武藏が欄干の所に佇んで海上を見て居ります所へ背後からやつて來て突然大刀の鐺を武藏の刀の鞘へガチーリと打付けた、鞘當といつて其時分は大變嫌ましいものだ、ハツと武藏が氣が付て振向く所を又一つカチリと打付けた、武藏驚いたから振顧つて 武「何をなさる 〇「何、何をなさるとは何だ、コレ貴様は何と心得て拙者の刀へ鐺を當てた、何の遺恨があつて鞘當をした…… 武「之はシタリ貴公の方で拙者の刀へ鞘を打付けたのではないか 〇「默れ無禮な事を申す奴だ、人間並に二つの眼を持ち乍ら拙者の手挾む此大刀が目に入らんかイヤサ拙者のこの六尺の身體が目に入らんかと申すのだ、何故拙者が近付いたら避けて通さぬ、見受る所旅侍、見苦しき乞食侍の分際として人並に兩刀を手挾んで居るのが第一猪口才千萬、サア兩刀を投出し、兩手を突いて額を摺付け誠に失禮をいたした御勘辨に預りたいと申さば宜し左なきに於ては拙者一刀の下に斬つて捨るから左様心得ろ 武「コレは無法なる一言、元より拙者知らん事だ、貴公の方からいたした鞘當、武士たる者が兩手を突いて詫るべき筋はない、第一旅侍乞食侍とは無禮千萬、咎めて宜ければ拙者の方から咎める所だ、併し見受くる所酩酊をして居る様子、酒狂の上の戯れでござらう 〇「默れ此奴怪しからん事を申す奴だ、勘辨ならんに依つて斬つて捨てる覺悟に及べ」と一刀の中柄へ手を懸けた、嚴島明神々前の騷動。

京城南山町三丁目巴城館通り
歯科 歯科醫學士 橋本清次郎
電話二九二〇番

入院隨意(診療夜九時迄)
泌尿器病 腎臓病 膀胱病 淋病 梅毒 横痃 皮膚病 專門
永樂町二丁目金光教會隣り
安部醫院 電話四一九番

六月八日九星
舊五月八日丙子
本命六白乾破赤口

▲六白● 諸事のもごろ事有り注意 新規見合仲介は吉 喧嘩劍難▲七赤● 眼の利く日 轉居旅行 商 入門 名弘 榮進求職 金融婚禮 渡洋出漁等萬吉▲八白● 命運の日 轉居旅行入門求職 探鑛 名弘家作鎭和 金融榮進萬吉▲九紫● たらしもなき事有り 新築手控へ諸事は吉 女子は行儀を守らるべし▲一白● 有徳の日 轉居開業節借吉 女子は學藝により立身を公す 大に振ふべきの日也▲二黒● 寶の入る日 轉居開業入學 名弘金件 出漁求職 榮進婚儀合資 榮達萬吉▲三碧● 小進を生じ安き日 新事手控は吉 衛生に注意せらるべし▲四綠● 一長一短の日と雖も新築修目の方吉 新事圖畫は妨なし▲五黄● 順潮の日 轉居旅行入學名弘採鑛 求職 縁婚實利用業萬吉

月やく
月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい御報に害なく通經する良法速に御知らせ致します
東京神田錦町三ノ一九 櫻田けい子

時間正確 實用新案 三二三九
此品無代進呈
●大阪西區北堀江御池通六丁目長尾商店呉服部では顧客に誠實安價を獻んが爲利害を顧ず流行絹縮緬兵兒帶無●上等中巾八尺物一圓九拾錢同大巾●八尺物二圓九拾錢同最大巾中一丈物●四圓武拾錢尚其上各一品毎に前記の如き十六形時計メタルの三景品を無代進呈中時計は最も正確なる新案日光添附すると云ふ方法に品質は良好安値で高評賓々なれば紙面で要望の方はハガキで同店へ申込めば直に代金引換送料實費にて送附し萬一現品本文に相違ある時は無料引取品物交換又は返金する由安心して注文す可し

下痢腹痛には ヘルプ

□ジョキニカケテムシタムヤ
滋養 大福麥
實用 ひ
池田製麥所 京城南大門外
□エイセイジヨウセンメンマセ
□電話にて御注文は少量に拘はらず配達仕候
□ハガキ御注文は切手代用御送付あれ

目ぐすり中の目ぐすり
登録商標 岸田 目藥 精錡水

村井弦齋先生發見
胃腸病胃癌妙藥 タラコン湯
價一週分一圓 二週分一圓九十錢 郵料一册
最近直驗者の報告
今日にては殆ど全快に向ひ居候云々 徹雄
相成寄ひ居候云々 朝鮮大邱東門町五ノ三
病氣は大分宜敷なりました實藥は奇妙不思議であります 釜山西町二丁目十七ノ十三 辛島茂一郎
服藥三日目より甚だ宜敷食物も次第に進み大喜びに候 羅州郡嶼枝面東中里 神谷助次郎
御陰にて勝の工合非常に宜敷更に二週間分御送り下度候 廣州郡松波郵便所 中川直三郎
藥效確實診療開始 需用激增工場新設
東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園 振替東京二〇〇二

リウマチス、神經痛と せんきに惱む人は 神疝湯
彼れ是と迷ふ無く
最も能効く良藥神疝湯を試よ現に烈しき神經痛が僅の神疝湯で夢の如く治り又は頗る難治のリウマチスや數年痼疾の疝氣で惱みし方々が神疝湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉さの餘り感謝の状(現在保存す)を寄せらるゝ實例に一般の閲覽に供す)も尠からず若し是等の病に惱む人あらば即刻試よ神疝湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有
本劑は せんき リウマチス 神經痛
子宮 血の道 ヒステリー
●こんな徴候 胸、腹、腰、手、足、肩、脊の筋つり、しびれ、又は痛み 張り●何となく此處と彼處と移動し●常に何となく胸つかへ張り込み●溜飲、食進まず●便秘又は下痢●寒氣●逆上●耳鳴、頭痛●眼疲れ●肩凝り●頭重く●足冷へ●根氣なく●氣力なく、眠られず●肥えず●物に感じ易く●手足の浮腫●リウマチス神經痛等●婦人病より起る●氣に惱む人は片時も早く神疝湯を試みよ
本舗 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎
代理店 京城南大門通 新井藥房

ミツワ石鹸

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴湯用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。貴重なる皮膚毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず

ミツワ石鹸は

化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性状を具備す

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず

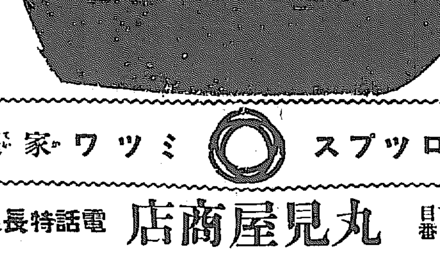
二、温雅の芳香を有す

三、細き泡沫を生じ適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹸なり

種類	
大形 家庭用	定價金拾五錢
中形 携帶用	定價金拾錢
小形 旅行用	定價金拾錢
極小形 旅館用	定價金五錢

技師 工學士 藤野太治郎 理學士 甲斐莊楠香



肝油ドロップス ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目 丸見屋商店 電話浪花特長 四四四四・四四九〇・八五〇番 振替東京一〇一七番

滿鮮第一
漬物味噌問屋 嶋屋本店 京城岡崎町

●急性慢性胃病 便秘溜飲 治癒良劑
●直ぐ胃腸も能く効く胸より脆嫌
提要 大効丸 決通 胃腸病の福音 薬舗 小林盛大堂 直ぐ試みて給へ
●本劑は多年實驗の良劑故永年困難の胃腸も治癒せしむ……▲又虚弱者、産後の人、腦病家、精神過勞の人、大酒家等、常に服せば胃腸を健全にし、食物の消化を助け、逆上を下げ、つうじを適度にし、身體を強壯にし、且卒中中風を豫防す、
(價)一圓廿錢 五十錢 一月二圓送料二錢
本舗 名古屋市廣小路通 小林盛大堂
大阪平野町小林大鵬堂 東京 龜井 惠翁故 實劑全國藥店 藥舗には皆直送郵税不要

近頃弊社の隆盛を羨み東京及全國各地に僞ドラッグを開店し、有り觸れたる賣藥を調製して其筋の免許を得、藥名を消し、免許藥味と販賣品とは別物にて僅に十錢の定價容器店構へ等外見恰も弊社支部の如く裝ひ以て世人を瞞着し原價を投じて二圓の定價を貪り詞せらるゝ者も有り。

りん病 ばい毒 專門藥房 東京ドラッグ商會

京城南大門外停車場通り 滿鮮本部

本舗 大阪 合資會社 ドラッグ商會 電話 二五六七番 振替京城四六七番

右の外紛はしき商號を用ふる者は凡て弊社製品には無之物若くは模造品なり弊社は藥效上の責任を重んずる爲他店に取次販賣を許さず直接御注文を乞ふ

●りん病 ばい毒藥一週間分普通壹圓廿錢特製武圓 ●りん病藥一週間分普通武圓特製參圓

本舗 大阪合資會社ドラッグ商會有田製劑と明記しあり此記名無き物は凡て弊社製品に無之

●詳細本月二日の本紙御覧

定價 一個入金十五錢 三個入金四十五錢
■各地藥店小間物化粧品店にあり
■發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤樟腦本舗

京城日報
第二版
七日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七拾錢
發行所 合資會社京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 岡田直... 印刷人 小川三之介

京城日報 化學工業（再論）

一昨年歐洲大戰役以來、國際貿易梗塞し、染料藥品其他化學工業品の缺乏を告ぐること甚だしきや、世間今更の如く化學工業振興の急を叫ぶものあり。我帝國本土亦此種工業上の施設に努むるも、其進行甚だ遲々如くならざるものあり。

吾人嘗て化學工業器械工藝の如きは、我朝鮮に取りて最も適當なるものとなし、若し國家として之を保護獎勵するの必要ありとせば、本土よりは寧ろ此地に於て之を行ふべきことを主張す。吾人の言ふ如きは本土政治家財政家の喜ばざる所なるべしと雖も、吾人は今日猶ほ此主張を改めざるなり。顧ふに化學工業若くば機械工藝のごときは、大仕掛よりは寧ろ小仕掛を擇び、小資本に據り試驗的に學問上技術上の智能を致して以て發明創作及び改良を圖る、即ち是れ新天地新世界の萬事經營に屬する處を、最も可なりとする所以なり。且大體、大資本家を用ふる機にありては、其資本及び勞力共に大仕掛なる大事業に用ふるに是れ急にして、新規且一時的の小事業に用ふるに適あらず。此たびの戰役に際して世間俄しく獨逸製染料藥品化學工業器械製品の供給を得ざるに苦むも北米合衆國の如き處にては其模倣品代用品の製造に從事するものなくして、獨り北歐羅巴の諸小邦若くは瑞西にて之を試むるもののあるに過ぎざるを見ても、其大要を知るを得べし。

近頃我帝國本土の言論界にては、頻りに理化學研究所若くは染料會社に關する議論を聞はし、論者多くは我實業家の利己主義に專らにして、國家及び社會の爲めに謀りて、忠實ならざるを責むるがごとくなれども是れ寧ろ無理なる註間ならずや。實業家に利益を無視して公共の爲めに働けといふは、政黨政治家に黨派觀念を去れと曰ひ、文武官人に名聞利祿を棄てよと曰ふの類にして、甚だ人情に近からざるの言なり。我帝國政府は理化學研究所に補助金を附與し、染料會社に保護金を支給するといふも我帝國の商業家工業家に取りては、幾ばくの刺戟ともなる可らず帝國の商工業者は、今方に鑛業紡績業其他大分量產業に忙はしく、大規模大仕掛にて單純なる業務に從事するとに由りて、互利を贏ち得べく、時に當りて、何を苦みてか營々として理化研究染料製造等に沒頭するを得むや。化學工業器械工藝のごときは、畢竟國家と學者專門家と相依つて、これが主動者となり、これが指導者たるべきものにして、之を商工業者に依賴せむとするは初めより誤解なり。國家と學者專門家と、其力を併せて其事に從ふは、新領土植民地より便なるはなし。我帝國の農業の發達進歩が北海道の開拓に負ふところ多きごとく、我化學工業器械工藝の發達進歩は、我朝鮮に之を求むるを得べきなり。新天地の新世界に於て、新計畫を開始し、其發明改正及び創作を贏ち得るは、最も自然的なり。爲政者及び學者專門家其力を用ふる處を知らざる可からず。

內地臺灣所觀

漢城銀行專務 韓相龍

三、臺灣の產業

△米 米の耕作は二種に分ち水稻及び陸稻とす。水稻は氣候の關係上水利の便ある田に於ては一箇年に二回耕作收穫せらる。其作付及び收穫は地方に依り異なるも第一期作は十二月より翌年二月迄に苗代を作り一月より三月迄に本田に挿秧し五月より七月迄に收穫し第二期作は第一期作收穫前後に苗代を作り七八月頃本田に挿秧し十月より十二月迄に之を收穫す。又水利の便乏しき水田に於ては夏頃降雨を利用し水稻を栽培す。之れを看天田と稱し第二期作と略ぼ其栽培を同じくす。陸稻は全く水利の便なき畑地に栽培す。水稻と同じく一年二回栽培收穫せらる、と雖も第二期作に屬するもの多し

大正三年に於ける第一期作付面積は二十三萬甲第二期作付面積は二十八萬甲以上水陸稻共にして降雨を利用する關係上第二期作多し。双方の收穫は四百六十萬石此價格四千六百萬圓なり一甲當收穫は水陸稻及び期別に依り異にし第一期水稻は平均十石內外陸稻は平均六七石內外第二期水稻は平均八九石內外陸稻は五六石內外なり

品種は第一期作は七八種第二期作は十種內外あり米の粒稍細長く粘力少なし近來は內地種を移入し改良に努む

米の作付面積は前述の如く二期とも五十萬甲に達す（全耕地面積に七割餘）灌漑の爲め設けられたる水路溜池あり之れを埤圳と稱す。主に民設にして官設稀なり。埤圳は農作經營上實に重要なるものなるを以て明治三十四年臺灣公共埤圳規則を發布して之れが監督、認定、獎勵に盡力す今や埤圳の數一萬二千箇所灌漑面積は二十四萬五千甲とす

△茶 茶の種類は五六種あるが烏龍、包種の二種を主とす烏龍は本島產茶の六割を占む。茶の摘採は內地の如く一番茶、二番茶と稱せず春茶、夏茶、秋茶、冬茶とし、四月より五月分を春茶、六月より八月分を夏茶九月より十月迄の分を秋茶、十一月より翌年三月迄の分を冬茶と稱す。品質は夏茶最良にして秋冬春の順序となり收量は春茶最多にして夏秋冬の順序となる

大正三年に於ける茶の作付面積は三萬八千甲收量一千九百萬斤此價格七百萬圓とす

茶として海外へ輸出するもの多く其種類は烏龍茶及び包種茶の二種殆んど全部を占む其輸出は北米合衆國及び支那南洋方面にして北米へは烏龍茶其他へは包種とす大正三年の輸出高は六百四十萬圓なり

△甘藷 甘藷は本島農民の重要食料品の一にして且つ氣候に適好せるを以て四時栽培す。大正三年に於ける作付面積は十二萬甲收量十四億萬斤此の價格五百九十萬圓とす

△果實 果實は熱帶地方の風土氣候に好適するもの多し、風味極めて佳良にして其重なるものは柑橘（五十萬圓）芭蕉（六十萬圓）鳳梨（十四萬圓）龍眼（十三萬圓）の外李、桃、檬果等の如きものあり全體の出來高は一百七十萬圓を算す。

其他重要農產物として落花生（百萬圓）豆類（百四十萬圓）苧麻（四十萬圓）黃麻（三十六萬圓）胡麻三十二萬圓の如きものあり。

臺灣に專賣局を置き阿片、食鹽、樟腦、煙草を專賣す。專賣制度は主に財政策の目的の爲めに創設せらるを普通とす、然れども臺灣にては財政上の目的以外に重要なる目的を有す即ち阿片に於ては人民の保護衞生の爲め食鹽、樟腦、煙草に於ては產品の振興を目的とす。

露國食糧政策（六）

ノウエオ、ウレミヤ所載

肉類市場を緩和せんが爲め目今各所に大規模に於て人工孵化の爲に孵卵場を設置するは必要ならん。復活祭に於ては巨額の雞卵使用せらる、一時此復活祭の雞卵斷絕の慣習にも手を入れ以て其半數なりとも新鮮なる雞卵を孵化場に差向くるも有益なるべし、村落又は農業に於て雞卵の人工蕃殖は其事業の簡單なるに拘らず農民の爲し得ざる所なれば（農民は如何にして着手すべきか全く知らざるなり）府縣若くは市は都市自治の例により、此事業を手廣く經營せば有益なるべし。主として簡易と廉價を事とせば府縣は其農場農學校又は個人の家に於て數千の孵化場を設置するを得べし數年引續き秋每に穀粒の過剩を期望し得る時は神は吾人に滿足すべき收穫を下したるものと思ひ誤るを以て余が心ある讀者に根本眞理穀物を殺るの儲貴排するは不文明にして又浪費なるを心付きたり、加工せられざる穀物は磨かざる『ダイヤモンド』の如く其價値の大部分を失ふものなり製粉せられたる『プント』の小麥は殆んど十倍の利を生ずるものとす、而して穀類の產業的變形は獨り麥粉に止まるものにあらず、多數の變化の內最も利益あるは穀粒の食用家畜の肉、牛乳、牛乳製作品、雞、雞卵、絨毛、羽、羊毛等に變轉することなりとす。我が露國に於て多大の穀粒の貯藏品が運送不可能の爲め數年月間腐敗せられ終に腐敗に歸する地方（モリンスクノ如き）ありと聽くは甚だ奇異なり。斯くの如き貯藏品の所有者若し此不用なる穀物を其の需要穀粒の需要より大なる他の給養品に變化せば甚だ好都合なるべし、我が國民は今少しく進みたる考へを得ざるべからず。戰爭を助勢する爲めには常に對外なるのみならず、對內の政策も必要とす。獨り內務省の爲のみならず國民の經濟及び生活に有益なる政策をも必要とす（終）

時局と教訓（三）

大戰と經濟問題（下）

新穀の出廻期─消費力の減少─同業同盟
一騎驅けの失敗─獨逸の工場─愼重なる研究

法學博士子爵 田尻稻次郎氏

平和は果して何時來る可き乎

此の戰亂は何時終るだらう乎。是れは豫言す可き限りのものではないが獨逸では今年の二月頃から內務次官は議會に於て國內の穀物の缺乏を告げ、大藏大臣も最早一日も戰爭は出來ないと言つて居る。勿論、是れは秘密に言つたことであるが和蘭を通じて漏れて來たのである。私は此の八月の半前までが最も獨逸にとつて苦しい時であるから其の頃に平和は來ないかと思ふ。若し八月の中旬を通り越して、新穀が出廻はるやうになると次第によつてはまた永く續くかも知れぬ。併し、縱令、戰爭が濟んでも一兩年間は、國內の復舊に忙しくして世界貿易に從事することは出來まい。然るに從來、獨逸及び交戰諸國から製品を仰いで居た國々では輸入の止まつた歐羅巴の品物を渴望してゐる。その渴望を醫してやることの出來る國は、今のところ日本より他にない。則ち、交戰國に代つてこれら亞細亞、亞弗利加、濠洲、南亞米利加等の市場の供給を引きうけて、世界を救ひ得るものは日本より他に無い。

西比利亞の發達と日本の商工業

斯樣な情勢であるに加へて、露西亞の國勢が一變して來た。一體露西亞の國と日本とは現在領土問題─その人口を移植す可き土地の問題で爭ふ可き必要は相方共全く無いと言つて宜しい。彼は西比利亞といふ廣大な地域を有つてゐる。我には又發達す可き土地が決つてゐる。而して露國は日露戰爭當時四千九百萬留に過ぎなかつた教育費を卅二割增、則ち一億四千六百萬留とし、三千五百萬留の農事費を一億餘萬留に增加して銳意民智民度の向上を計り西比利亞鐵道は三千哩五千哩の支線を拵つも出して開拓の設備は着々として整ひ加ふるに有り餘る壯丁を有つてゐる。西比利亞の農工業の發達は非常なものであらうと思ふ。此の西比利亞の農工業の發達は一面日本の工業にとつての福音である。西比利亞でも先年ウイッテが製造工場を設けたけれど、其れは鐵道用具紡績等のみであつて、織物用具とか家具などは日本から供給をうけた方が廉價で精良なものを得られる。此點に於て日本の商工業は有望なる進路を有してゐるといつてよい。濠洲南米等も日本から物資の供給をうけた方が地形上利益である。

先づ經濟組織を變更せよ

斯く伸せば日本の商工業の前途は頗る希望に充ちて居る。併しながら、今や世界の消費力購買力は減じてゐる。故に、今迄のやうに坐して顧客を待つやうでは駄目だ。出かけて行つて賣り付けなければならぬ。それには現在の日本の經濟組織では到底いけない。日本の實業家は一騎驅けのみを働いてゐる。國際的の經濟競爭に於て一騎驅けでは不可ない。米國のトラスト獨のカルテル所謂同業同盟で進まなくちやならない。獨逸の如きは同業同盟の本部に於て凡て注文をひきうけ之を注文主との地理上の關係及び專門の特技等から斟酌して其れ々々組合中の工場に割り付けて行く。現に日本も軍需品の注文なども同業同盟が出來て居れば製造能力不足を廉で謝絕しなくとも濟むのであるに自分一人で利益を占めようと不心得の商人があるから外國へ對して見つともないことになる。宜しく考ふ可きことゝ思ふ。獨逸では今や紡績工場まで軍需品を製造してゐるしかし戰が濟めば、聯合軍が獨逸に攻め入つて其工場を叩き壞さない限り、再び復活するのは明かである。その邊のことに就ても愼重な考があつて欲しい。兎に角、此戰爭の經濟は保護政策を誘發し、物價の騰貴を來すであらう。それと共に今から括目して見る可きは戰爭のために紛碎せられたる從來の貨幣法、銀行法、取引所法を如何に取り纏めるかこれらは獨逸人と共に交戰國の學者の大に智慧を絞るところであらう

附記 博士の談中國際問題に關し微妙なる意味の存するところは都合により之を省略せり（記者生）

日報俳壇

雉子郎選

□一句づゝ（五月廿日句會吟）

○虎耳
山木賣る朝町靄り紫陽花も

○句平
古金さ賣替ねに來る紫陽花に

○鳥堂
紫陽花の雨こぼす風一ツ時に

櫻

大峰の雲晴れかゝる櫻かな　容堂
夜の長途來し疲れ臥す花の下　同
いつの間に人減りし閑花暮るゝ　同
花ちるや或は沈む谷の中　同
花ちるや燒け具合見る靑寫眞　同
花ちるや苔濕やかの窓の下　同
花の雨出し忘れたる手紙哉　同
山々の花に夜明くる戶每哉　義朗
花更けて池の靜寂や灯の暈　同
囚屋移されしを殘る櫻かな　坡柳
花見るや何處より來し汚れ犬　山民
陽入れど床給に強き花明り　旗知
喪笠とらで落花見居るが麗て去る　句碑守
花ちるや照るとなき皿の月あり　沛子
花淋し意強き母の守る我家　東村
落花見る窓に暮れ行く四山哉　檜黃子
花見人過ぎ去りし後の埃哉　露風
岩を嚙む水煙高し山ざくら　韮城
雲割れて花谷照れば山霽るる　和京
政令の二途に出でたる櫻哉　合歡女
花人に腰攤ひめかす茶屋卑し　靑眠子
花かけて投銜の賀宴張り居る　雉子郎
朝鮮へ明日發つ花に遊び居る　同

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正五年六月一日（定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘）

主要目次

◎口繪（金剛山に於ける鐵道連絡會議員一行 朝鮮風俗（三色版））
■朝鮮米の內地移入稅復舊案に就て……荒井度支部長官
■朝鮮の上水……田中丸總督府囑託
■六典の最後に過渡の時代あり……淺見高等法院判事
◎大正五年度臨時恩賜金豫算の梗概◎篤行者事績◎四月中の朝鮮貿易◎東京に於ける朝鮮米概況◎大阪對朝鮮貿易
■慶尙南道畜產事情……野口總督府技師
◎大正四年蠶種製造狀況◎特用作物實收高◎豆類實收高◎大豆粒選實施成績◎下付植林樹苗成績◎日支鐵道連絡運輸◎四月中の鐵道運輸◎水道工事功程◎教授資料平壤地方習俗狀況◎社會教育施設◎補習教育◎モルヒ子慢性中毒者治療の狀況◎賣笑婦健康診斷狀況◎製鹽業に就て 今津技師◎シンナムの染色實驗 上田助教授◎勸業模範場小作人の貯金成績 向坂技師◎滿洲通貨一斑◎朝鮮銀行調◎東洋の日本◎波蘭占領地に於ける獨逸の施政◎地方通信◎雜報◎統計◎法令及通牒
■大正五年度臨時恩賜金豫算及事業概要
■朝鮮語の研究……新庄通譯官

▲投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
▲販賣店 東京神田巖松堂、朝鮮各地の書店に販賣す 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店
▲廣告料 一頁十圓

朝鮮彙報特別號 六月十五日發行
紙數約二百頁─定價二十五錢郵稅二錢五厘

◎口繪 藥料植物
■朝鮮に於ける地稅制度の沿革……藤川度支部稅務課長
■鷺峰（咸鏡南道 平安北道界）植物調査……中井理學博士
■朝鮮の山野より生產する藥料植物……石戶谷總督府技手

新譯繪入 模範家庭文庫 グリム御伽噺

芳賀博士序 中島孤島譯 好評四版

我國少年文學に一時代を作れる模範家庭文庫の信用は既に絕對的也思慮深き父兄は家庭の幸福の爲必ず本書を求め給ふ義務あり

グリムは獨逸の國寶的舊話集且世界少年文學三大經典の隨一也
グリムは近世御伽噺の總本家其一冊は世界童話の全部に當る
グリムは歎美すべき獨逸の國民教育を養育せる母胎なり。

新譯繪入 アラビヤンナイト 上下
坪內博士序 杉谷代水譯 定價各貳圓 稅內地各十二錢

空前の美本アラビヤンナイトに躍で一層の丹精と工夫を凝らせる本書の出來は實見して之を知り給ふべし

富山房新裝 高雅純獨逸式五百頁 三色版十二面 挿畫六十餘面 色刷凸版五十餘個 定價貳圓廿錢 稅十三錢臺灣・支那廿錢

東京神田 富山房 振替五一一

再版 朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著
改訂增補 朝鮮不動產登記 朝鮮商業登記 申請書式並心得
▲紙數四百八十頁 代價金壹圓郵稅拾錢

本書中不動產登記の部には土地調査に關聯せるもの及不動產登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑託書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を揭て加之官通牒、登記に關する決議、實例等苟も申請人の參考と爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を揭記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得べき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所 京城日報社 振替京城大平通三〇〇

東清鐵道買收と閣議
對支政策も二三の進展か

六日午前十時四十分より永田町首相官邸に於て定例閣議を開き大隈首相以下（箕浦遞相缺席）各大臣出席過日來の閣議に於て審議中なりし露國政府と東清鐵道の買收の件に就き種々協議する所あり次で石井外相より外交の經過報告あり大隈首相より對支外交に關する案件を提起し各省の意見を求めたるが當日の閣議に於ては從來の對支政策に二三の進展を見たる模樣なり（東京特電）

米國の軍備熱熾烈
海軍擴張案に對する下院の大々的協贊

五月十八日米國下院海軍部委員會は政府提出の海軍大擴張案に對し兎も角次年度に於て巡洋戰艦五隻巡洋艦四隻驅逐艦十隻潜航艇二十隻及び給油船給兵船病院船各一隻を建造する事とし之が豫算增額二億四千萬弗を計上し可決報告せる事既報の通りなるが五月三十日の下院本會議に於ては右增額を二億七千萬弗に增加し潜水艇の數を五十隻に修正する事猶政府案たる航空費二百萬弗は之を三百五十萬弗に增加し又海軍工廠設備擴張費二千六百萬弗を支出する事と爲し且既に獨立の豫算として上院を通過し居れる裝甲板製造所費一千百萬弗をも可決確定せり右海軍案は二百五十八對四票と云ふ大多數を以て通過せるものにして上院の日程に上るは多分六月下旬なるべきも從來上院は常に大海軍主義を保持する者多數を占め居れる故同案の採決せらるゝは勿論更に戰艦二隻を追加するに至るべしとは同國一般に期待せる所なりと云ふ近來米國に於ける軍備熱特に海軍擴張熱は極めて熾烈にして政治家と云はず實業家乃至敎育家と云はず苟も戰備を口にせざる者は殆んど顧られざる趨勢に在り（東京特電）

南征軍動かんとす
倪嗣冲先づ湖南に入らん

北京政府は愈湖南討伐の議を決せるものゝ如く倪嗣冲は西南征討使に任ぜられ四日汽船にて岳州に向ふ筈なりと其の討伐軍は安武軍十五大隊河南軍第七混成旅團八大隊湖北軍歩兵一聯隊砲兵一聯隊機關銃隊三大隊及び倪嗣冲の親兵一旅團にして合計二十二大隊凡そ二萬餘を以て編成さる先づ岳州に集合し而して後湖南に入る筈なり

▲湖南軍の軍勢 湖南の軍隊は林虎の率ゆる廣西軍十四大隊呂人璋の率ゆる五大隊胡叔麒の一個旅團寶慶の護國軍三千人砲兵一聯隊約一萬五千にして各地の守備隊を合して約三萬人なり勝敗未だ知るべからざるも事件は之が爲め擴大されんとするものゝ如く湖北長沙は之が爲めに甚しく擾亂し形勢再び險惡の徵を示し來る（漢口特電）

總統府重要軍事會議

三日總統府に重要軍事會議を開き左の諸件を討議したり
（一）江西省特別防備案（二）湖南岳州警備案（三）近畿防務計畫（四）奉天山東軍事連絡案（五）湖南省に對する增兵案
當日大總統は病氣の爲め列席せざりしと（北京特電）

大海戰後の英國艦隊

英國驅逐艦隊は午前五時に終れる夜襲に成功し英艦隊司令官ジエリー提督は獨艦隊を港灣に驅逐して歸還せるが同提督は重立たる戰場を巡回して根據地に引上げたるものにして二日石炭を積み込み三日夜再び出動せんとしつゝあり

水牛陸兵を突く

[illegible]卒を見懸け猛然として追ひ來りたる[illegible]入院治療中なりしが遂に二十日午前[illegible]りの弓取に鮮かな手振を示し大喝采[illegible]激しく腹部を踏みたる爲め同人は間[illegible]物を東亞鐵道車内に運ばんとしたる[illegible]妻翟氏（三七）は何事よりか夫婦喧嘩を[illegible]場に臨みて取調べに著手したるが何[illegible]うやら狂言自殺らしく無論生命には[illegible]

大海戰の戰況

英國弩級艦マールボローは四面より獨潜航艇の襲擊を受けたれども魚雷同艦に命中する迄三回程巧妙に避け得たり同艦は今や安全に港内に碇泊せり獨逸ツエッペリン飛行船は其間何等の働きをなさず僅に一隻が短時間の行動をなしたるに過ぎざれど同船は英艦よりの猛擊に會し大損害を被りて退却したり獨艦は此の間奇襲を行はず十七吋砲を使用せず又た何等新しき戰略を取らざりき

▲獨艦隊の損失 英國海軍省は獨艦隊の損失の内に戰艦二隻弩級戰鬪巡洋艦二隻（ウエスバーデン、エルビング）ロストック型輕巡洋艦一隻輕巡洋艦フラウインロブ及び驅逐艦九隻並に潜航艇一隻ありと信じ得べき確證を有すと（倫敦電報）

大海戰の損害如何
我海軍當局者の觀測

英獨大海戰につき海軍當局の談に依れば海戰の豫想は今尙ほ信ずべき確報に接せざるを以て双方の主張何れが眞なるか明言するに困難なるも新聞電報其他を綜合するに

▲英國側 は沈没若しくは放棄せるもの左の如し
▼巡洋戰艦三隻 クヰン、メリー。インビンシブル。インデファチガブル（フード少將坐乘）
▼裝甲巡洋艦三隻 デフエンス（アービユス、ノート少將坐乘）ブラックプリンス、ウオリオル（放棄）
▼驅逐艦八隻（構造大型のもの）

▲獨逸側 は左の如し
▼戰艦四隻 ウエストフアーレン（弩級）ポンメルン（超弩級）カイゼル型二隻
▼巡洋艦一隻 デルフリンゲル又はルッツオー
▼輕巡洋艦三隻 ウヰスバーデン、フラウエンローブ、エルビング
此の他驅逐艦若干隻、潜航艇一隻あるもの丶如し（東京特電）

英國海軍省發表公報

英國海軍省は四日夜左の公報を發表せり（倫敦電報）
艦隊司令長官の戰鬪詳報提出前海戰の詳細を叙するは假想なれども海戰の成果は既に分明なり兩艦隊の見ゆるは三十一日午後三時三十分にして巡洋戰艦輕巡洋艦其他の補助部隊間に激戰開かれたり此の間兩軍の損害重大なり英國主戰艦隊の戰場に來會するや獨逸大艦隊は手痛き攻擊に屈し少時にして避戰退却せり當時海霧の爲め視界狭少なりし事は敵の退却を容易ならしめ爲めに英國主戰艦隊は優勢を發揮する事を得ざりしも日の全く沒する迄追擊を繼續し英國驅逐隊は此の夜間有効なる襲擊を決行せり大艦隊は敵の驅逐を終りて戰場に歸還し殘敵の搜索に努め六月一日正午に至りしも敵の艦影を認めざりしを以て根據地に歸還し軍需品の補給を爲し六月二日夕既に出動の諸準備を完成せり英艦隊の損害は既に發表せし以外一艦艇の增すべきものなし敵の損害は決して我損害より輕からず確かなる根據に基く敵軍の損害左の如し
戰艦二隻、巡洋戰艦二隻、最新型巡洋艦二隻、輕巡洋艦二隻、驅逐艦少なくも九隻、潜水艇一隻

露軍羅國境にて成功

露都來電の公報に據れば露軍はプリペット沼澤より羅馬尼國境に至る間にて重要なる成功を收め捕虜一萬三千を得たり（東京特電）

ミューズ河佛軍の防戰

巴里來電に依れば四日夜間發表の公報に曰くミューズ河の左岸に於ては激烈なる砲擊行はれ獨軍は三〇四高地を攻擊するの準備を整へたるが佛軍の猛擊は之を沮止せしめたりミューズ河右岸の獨軍はボー及びタンルー地方並にボー要塞を砲擊せり要塞の西北に向つて獨軍が午後三時に行ひたる攻擊は佛軍の機關砲火の爲に沮止せられたり（倫敦電報）

管理局長會議

鐵道院にては六日鈴木北海道岡田東部長谷川中部野村西部長尾九州の各管理局長を東京に召集し本院より添田古川正副總裁を首め各局長出席の上局長會議を開き并給賞與其他人事に關する會議を開けり（東京電報）

水難救濟會總會

帝國水難救濟會にては六日午前八時半より兩國國技館に於て總會を開き東伏見總裁宮殿下台臨令旨を賜ひ吉井會長の奉答あり次で遞信大臣の式辭有功章名譽會員章の授與式會務報告あり訖つて餘興として大相撲の催しありたり（東京電報）

我遣英武官
大海戰に戰死？

海軍少佐下村忠助氏は觀戰武官として英國に派遣せられ居りしが英獨大海戰の際クヰン、メリー號に乘組居りたるらしく多分艦と共に戰死せしならんとの報あり（東京特電）

經濟研究會
近く京城に組織さるべし

朝鮮の首都にして半島經濟の中樞地たる京城に於て、廣く經濟に關する事項を研究する目的の下に一個の團體を有するの必要は夙に識者間に感ぜられたりしも曾て京城經濟協會の自然消滅に歸したる以來斯種計畫の實現を見ざりしが本年早春の交一部有志の間に其議起り官廳側にては齋木商工課長、入江理財課長、和田鐵道局參事、民間側にては村田東拓理事、高野三井物產支店長、木村鮮銀理事等の諸氏發起者となり勝田鮮銀總裁も其計畫に贊成して盡力する事となり本月六日午後五時より銀行集會所に發起人會を開き愈々近日中に「經濟研究會」を成立せしむる事に決定したり同會組織の趣旨は實際財界に公私の關係を有する人を以て組織し、動ともすれば社交團體の形式に流るゝの弊を排し眞摯著實に經濟上諸般の問題を研究し智識の交換をなすに在りと云ふ其實現の日には京城に於ける有力なる團體の一たるべし

袁總統薨ず

袁總統は病氣危篤に陷り六日午前薨去の報確かなる筋に到着したり（東京特電）

▲別報 北京三井物產會社支店より當地同支店に達したる電報に依れば袁總統は六日午前十時に薨去せりと

第五雲海貨船

朝鮮入籍の手續き中なる鎭南浦中村組所有第五雲海丸（五千八百噸）は神戶にて遞信局小野技師等の檢査を受けつゝありしが八日頃略終了すべく中村組にては其後直に朝鮮在籍登錄の手續を終り米人某氏に貸船する由

鮮銀奉天出張所上棟

奉天城内小西關に新築中の朝鮮銀行奉天出張所は八日盛大なる上棟式を行ふ由なるが滿洲旅行中の三島理事も列席すべし

人事消息

▲茶谷保三郎氏（安宅商會員） 六日慶南より入京浦尾へ
▲大神誠吉氏（明治炭鑛技師） 入京中の處六日夜退京
▲高木盛勝氏（理學士） 同上
▲笠井工學博士（小野田セメント技師長） 六日夜入京朝鮮ホテルへ

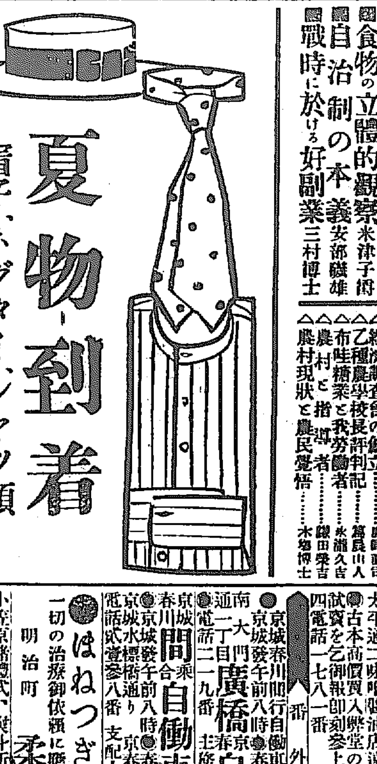
南言北語

小玉香象と云ふ寶卜先生は米國で大持に持て居る相な▲兎角奇を好むヤンキー先生を相手にして筮竹を捻るので評判は頗る高い▲大統領ウイルソン氏を占て年内に四十歲前後の未亡人と結婚するとやつたが果して適中し▲セバスチヤンを占つて市長に當選するとやつたのが之れ亦適中したので新聞なぞは日本の大豫言者だと持ち囃して居る▲香象君大得意になつて大膽にも今秋の大統領選擧の結果を占つて▲ウイルソン氏の民主黨は黨員互に鬩ぎ合つて最後の勝利は進歩黨を同化した共和黨の手に握らるゝとやつた▲サア大變共和黨連は此の占を金科玉條として堂々と其の機關紙へ迄も揭げておまけに香象君の大きな肖像まで揭げて東洋のデビネーションプロフキッサと仰山な肩書迄も附て擔ぎ廻つて居る處は滑稽よりも寧ろ無邪氣で可愛らしい▲其れにしても日本の大豫言者にはチト恐れ入る▲京城でも俳句の大流行だが近來は何處でも流行するものと見ゑる▲東京遞信でも瀧川檢事正の愚佛、本願寺の句佛上人は有名なものだが式部官の松根東洋城も大家だ▲柴檢事の淺茅、佐藤陸軍大佐の肋骨、安田家の安田善衛君の平安居、東京市技師の直木燕洋、熊谷少將の曲扇なぞは餘り人が知るまい▲公爵德川慶久氏も大いに俳句を樂んで居る相な▲其れから華族界では一と旗の舊の大家がある先づ宗匠の星石（重望伯）稻垣圜圃（大藏子）杉溪六橋（言長男）と云へば立派な本職と云つて好い▲書の方では書と違つて天狗計りぢやが先づ星石、圜圃に匹敵するものはない▲大木天籟（遠吉伯）は三年間酒を廢めて勉強したので此頃は天狗連中でも一と旗の出色だとの事

●旭將軍鈴木五段が七年の努力で出來た新式獨習法○
科學的解釋 新式圍碁寶典
誰でも獨でイツの間にか圍碁の趣味が直に味はれ嚙んで含める樣に面白く解かれた獨習速成書で又好碁家には策戰自在の必勝疑なき參考書（一冊讀めば必ず碁が打てます）
○先生で無し打て天下唯一の圍碁速成書●
和裝一冊 定價各金六十錢 送料各四錢
京大阪 城屋號 電話六八 振替四〇八 二五七三

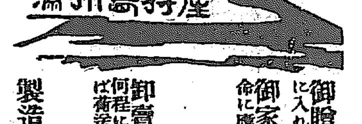
漢學講義錄 科學的講述
速成一ケ年卒業■講義通俗平易■詩文添削及質疑應答無料■紀念大特典提供■見本付會則無代進呈■東京神田裏神保町 帝國漢學普及會
漢學研究指針、論語、外史、政記、文章軌範、十八史略、唐詩選、作文作詩法、名家文章、故事熟語、瀾文評

農業世界 □六月號□ 定價二十二錢 郵稅二錢 東京本町 博文館
■本位こ農本主義 林伯爵
■食物の立體的觀察 米津子爵
■自治制の本義 安部磯雄
■戰時に於ける好副業 三村博士
△米價問題より米增收……柳田翰長
△經濟調査會の創立……鹿野直司
△乙種農學校長評判記……篤農山人
△布哇糖業と我勞働者……米濤久吉
△農村と指導者……鎌田榮吉
△農村現狀と農民覺悟……本多博士


夏物到着
帽子、ネグタイ、シャツ類
京城本町一丁目 東京 塚谷出張店 電話百三十六番 振替口座京城一二九九三番

銀行會社官吏鐵道員養成講義錄
速成四ケ月卒業會費二圓八拾錢校則進呈 東京芝公園 大日本國民通信學校
卒業者は各自希望通東京は勿論全國へ直に就職せしむ

日韓書房
新版報吉
今村農學士作れる唯一 野菜畑 定價一圓 送料十二錢
漢文研究會參考 受驗漢文精解 定價九十錢 送料十錢
中村田園 秋人著趣味 花園生活 定價七十錢 送料八錢
婦人記者化込日記 續お目見え廻り 定價三十五錢 送料四錢
全國小學校綴方優秀編 兒童文集 定價六十五錢 送料六錢
京城本町二丁目 電話一二五七 振替四〇一五二

畏くも宮内省御買上の光榮を賜ふ

濟州島特產
椎茸
御贈答用としては最もお適當の美しき箱に入れ至極體裁よく御調進可申候
御家庭用には袋入の實用包みと致し御用命に應じ可申候
卸賣としては御好み次第種々調へ可申候何程にても御用命下されたく御注文多數なれば荷送料極めて割安と相成可申候
濟州島城内 製造發賣元 西鄕商店

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版・亞鉛凸版 最も鮮明なる技術を以て最も低廉に迅速と可成切を旨とし御高需に可應候 京城日報社 寫眞製版部

京日案内
普通（一回金三十錢 匿名一回毎に金五錢增）
番外（一回前金六十錢 匿名一回毎に金五錢增）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通
●帳簿係 男子又は有夫の婦人二名採用有經驗者履歷書郵送ありたし 南大門驛前 協同組運送店 354
▼金融 △書籍 オルガン・ピヤノ・バイオリンにて立替 ●本町二 ウツボヤ 電二五二七 320
●子供至急入用十四五歲迄要身元保證人 京城本町二丁目 電話一三三番 長門屋 361
▲ホネツギ ●明治町フランス教會正門前 ▼うちみくじき治療 電話二五九五番 荒川仁壽堂 362
●店員入用但し確實の身元保證人を要す 京城本町四丁目 電一四九四 丸山商店 364
●得意廻り店員入用市内に保證人を要す年齡廿歲前後本人來談 京城太平通二 味噌醬油店 遠藤商店小賣部 365
●古本高價買入弊堂の勉強是非御試賣を乞ふ御報即刻參上 ▲京城本町四 電話一七八一番 群書堂 348

番外
●京城春川間 乘合自働車 賃金片道四圓 京城發午前八時●春川發午前八時 京城南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車 主務 金正淵 322
●京城春川間自働車 賃金片道四圓 京城發午前八時●春川發午前九時 京城水標橋通り 電話弐壹參八番 支配人 松田淳男 50
●はねつぎ うちみ くじき等一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 334
小笠原諸禮式、熨斗折方、水引細工、生花、茶、一週二回宛出敎授致し候 京城旭町一丁目九十四番地 池田柳子 359
漢江遊船案内 龍山電車終點手前 電話四一八番 貸遊船業 共樂社 355
株 有利にして確實なる現株賣物あり ●公債株●現物問屋 京城本町二 電話九九三 田中友吉商店 357
恩給 年金立替月利壹歩貳厘五毛 短期無保險迅速融通 京城武橋町二三番地 電話二三八三番 京城日報社北方一丁 國江商會 336
皮より強い値の安い 專賣柳製德用鞄 京城本町一丁目 高木旅行用具店 346
恩給年金類 長期低利立替 短期保險不用 市内土地擔保低利金融す 京城南大門外（舊御成町） 山口屋 339
分礦物定量 分析 京城太平通二ノ一二五 電話一三四四 坂元分析所 358
小兒科 内科 大和町一丁目（日の出橋下る） 爲春堂醫院 院主 古城俐吉 （電話九一八番） 356
本店新製 クリームキャラメル 大十錢 小五錢 パン元祖 木村屋支店 京城明治町 電話二八七 360
桑 種子 苗木 荷 高知本場魯桑 名古屋產 共 京城 勸農園 電話七〇四 振替京城五五六 363

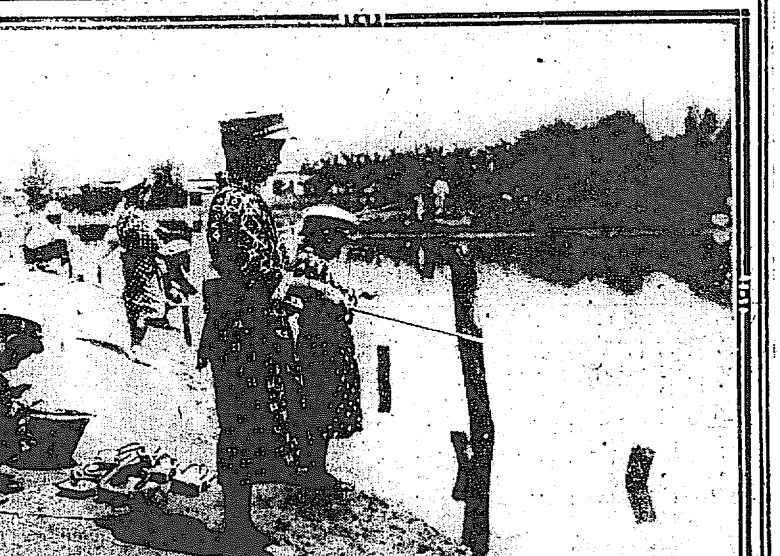
[illegible]入（三）[illegible]入時頃野外に於いて戰闘演習に参加し演習中折柄附近に放飼しありし水牛二頭は砲聲に驚きて狂ひ出し同兵[illegible]突き[illegible]の角にかけられ重傷を負ひたるより直ちに收容して同地衛戍病院分院に入[illegible]

[illegible]て催されたるが盛んな景氣にて幕下[illegible]中に逃げ込みし時玉椿は羽織袴にて[illegible]の余品の披露を爲し其より再び取組に入り結びの勝相撲太刀山に代つて玉椿が名殘[illegible]

[illegible]は五月二十日午後七時頃同里鄭[illegible]の山道にて酩酊して同里の農宋在弼（三十）と喧嘩を初め[illegible]を突き倒して[illegible]

◎亂暴な露國軍掌 三十一日午後三時頃長春附屬地支那宿日升棧の客引が客を迭つて停車場に至り荷[illegible]り車掌は露國領事館に捕送さる

◎鮮女の狂言自殺 四日正午頃平壤府[illegible]田里十五番地金寳淳の[illegible]洗濯用苛性曹達少量を飲み唇を爛せしめて苦悶し居るを發見し大騒ぎを始め平壤署に届出でたれば警官現[illegible]



僕は又餌さへ取られちやつた……ほんとに意地の悪い魚ばかりだナ喰べるなら一口に喰べて釣られたら好いのに……南山にて……

◎大局には影響せぬ
英獨艦隊の北海大海戰
「獨逸艦隊出動の目的如何？」
海軍少將 森義臣氏談

去る三十一日の北海に於ける英獨海戰は今回の大戰亂勃發以來初めての大海戰である未だ其の詳細なる又正確なる報を得ないから海戰に就て確實なる事は勿論語り得ないが此の海戰に於て獨逸は意外なる捷利を博し之れに反し

◎英國は思はぬ不覺を取つた事は新聞電報等に由つて明かなる處である、想ふに此の海戰に由つて將來英國の制海權に破綻を生ずるが如き端緒を開かぬとも斷言する事は能きぬが今日の處大局に差したる影響を及ぼさぬと云ふ事は事實である而し英國海軍に取つては實に寒心に堪へぬ敗戰である事は見逃すべからざる事である今回獨逸海軍の出動したる主なる目的とも見るべきものは第一に敵艦に遭遇し一戰當て海軍

◎軍人の士氣を鼓舞し軍港に蟄伏ばかりして居つた單調を破ると同時に政府及び國民に對しても獨逸海軍が決して無爲でない事を示し國民全體の信頼を繫ぐ必要の時期が來たのと第二には出動して折よく味方よりも劣勢の敵艦隊に遭遇すれば好い加減に引込み又敵が己れよりも優勢で有る場合には逃走すると云ふ程度の覺悟で出動したので有らう、故に其の陣形も輕巡洋艦の一隊を遥かに先に立てゝ警戒しつゝ進行中三十一日午後

◎端なく英國艦隊に遭遇したるを以て獨の輕巡洋艦隊は敵艦隊に遭遇したる事を本艦隊に報ずると同時に英國艦隊を相手に戰ひ且つ退き巧みに之れを主力艦隊に誘き寄せたのである茲に於て端なく

◎一大海戰は開かれ英國海軍は戰闘巡洋艦クイーン、メーリー（二萬七千噸、千九百十二年建造、乘組定員千人）戰闘巡洋艦インデファチガブル（一萬八千七百五十噸、千九百九年建造、乘組定員八百人）戰闘巡洋艦インヴインシブル（一萬七千二百五十噸、千九百七年建造、乘組定員七百五十人）裝甲巡洋艦デフエンス（一萬四千六百噸、千九百七年建造、乘組定員七百五十五人）裝甲巡洋艦ブラック、プリンス（一萬三千五百五十噸、千九百四年建造、乘組定員七百四名）の五隻を失ひ獨逸側にてはウイースバーデン（五千六百噸昨年建造）戰闘艦ボムメルン（一萬三千四十噸、千九百十一年建造、乘組員定員七百三十六人）の二隻を失ひ三等巡洋艦フラウエンロープ（二千六百五十七噸、千九百四年建造、乘組定員二百八十一人）の運命は不明となつたその內に英國海軍の方からも

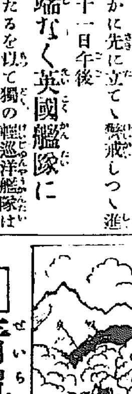
◎最初の警報に出動したので英國艦隊では今迄の位の間時戰つて居れば味方の主力艦隊の來援が有ると云ふ見込が付いて居るから必死となつて優勢の敵艦と戰つて居る內に意外の損害を招いたのであるが更に獨逸が最後まで決戰の覺悟を以て居たならば以上の大損害を現出したで有らうけれど獨逸艦隊出動の最初の目的が茲に無かつた爲めに或程度の成功に甘じて引返へし英國艦隊も亦餘り獨逸海岸に接近する事は

◎潜航艇襲撃等の恐れあるを以て途中追擊を止めて引返へしたで有らうと思はれる夜に入れりと雖も那威に近き北海の事なれば十一時過ぎまで太陽を見太陽没するも薄明りなれば夜に入りたるが爲めに戰を止めたのではない、此の戰に於て英の超努級艦クイン、メリーは沈沒したが海戰に於て超努級の戰艦が沈沒したのは之れが世界に於て嚆矢てゞあるが其の

◎沈沒の原因は砲彈の爲めであるか又た水雷の爲めで有るかはよく分らぬ水雷の爲めであるとしても軍艦から發射されたものか潜水艇から發射されたものか分らぬが斯くの如き戰闘の場合には潜航艇はそれ程効果のないものであるから多くは軍艦から發射した水雷が命中したものであらう兎に角獨逸の魚形水雷の優越なる發射の技能は近來各國の驚いて居る處である、今回の海戰の原因である處の獨逸艦隊の出動は前に述べた如きものであつて決して或方面の傳ふる如き

◎五萬の獨逸陸軍を英本國に上陸せしむる爲めの牽制運動だなどゝ云ふ事は無稽の説である制海權を掌握して居つてさへ却々大軍を敵國へ上陸せしむる事は一大困難である况んや制海權を英國に握られて居る獨逸に於て斯くの如き無謀な擧に出でしとは如何にしても思はれない。

□青嵐を馳る二十二里
楊柳依々たり春川の路
二、並木を出で江に沿ふ



江河の上流には大抵多くの奇勝がある漢江も亦其の上流には數へ切れない程の絶景を有つて居る、店幕里から淸平線迄の道路五六里の間に添ふて居る漢江は上流域と中流域との中間に當り淸冽なる江流深き峽底を流し下すれども概して平らかにして飛灘急湍少く船の溯江亦容易である、春川街道は江流の右に添ひて其の

▽崖上の山裾を走る△

江の兩岸から直ちに山は峙立して平坦なるは此の街道が一筋あるばかりである、此の峽中に道入つて殊更に感じたのは京城附近又は京義京釜の鐵道沿線等に見るが如き赭色又は白礫砂土の禿山へ人爲的に樹を植付けた處とは異ひ山には少しの土も見ねず萎々青々と夏草繁り松や雜木林の緑が巖を蔽ひ谷を埋めて居るから山と云ふ山は皆な如何にも柔らかに丸味を持つて居る

▽滴る樣な青葉山△

の間を眞白な帆が幾個ともなく上り下りして居る、中には赤で染めた赤褐色の帆を揚げた船も交つて居る、涼しい風は江から吹き上げて來る、青葉や花の香を持つた緑の風は峽から吹き下して來る。願はくば一夏を此の山峽の舟人に成つて見たいとは茲を通る誰人もの胸に浮ぶあこがれであらう、野茨や、瑞木や、忍冬や、葛や咲いて居る

▽花は多く白かつた△

自動車は此の間を進む事約一時間ばかりして、惜しい山峽や奇麗な江の流や、進むに隨つて奇を增して來る兩岸の岩山や斷崖やに別れて再び並木の道を加平郡に向けて驅走する、淸平線も亦森林の美なる處、幽邃にして涼味掬すべき部落である、自動車は茲に休む、憲兵分遣所で茶など香して貰ふ、自動車は更に驀進して

▽廣い廣い森の中△

に走り込んだ。森の夏をば種々の花が彩色つて居る。淸平線と加平との間を甘泉里と稱し、此の邊は栗の産地である道の兩側にも非常に大きな栗の木が見渡す限りに立ち並んで居る、栗の花房は細い緑の綵の如うに垂れて甘い花はまだ咲いては居らなかつた、此の大きな大きな栗林の中を出でると更に驚いたのは三抱へも有らうと思はれる巨大な柳がギッシリと壁の如うに路の兩側に隙間なく立ち並んで恰度日光や身延の大前路の如うに晝さへ暗い程だ

▽其並木の終る處△

が加平郡邑內である大柳の並木に續いて無類のアカシヤの花が雪の如うに咲き亂れてハラ〳〵と散つて來るハラ〳〵とミルク色の花が散る、なつかしい匂がそこら邊り一面に廣がつて居る、加平郡に著く京城から十二里、旅舘もあり郵便所憲兵分隊などもある內地人も二百人ばかり住んで居る加平は京畿道東北奧の平野であり山間の平地は三四百町歩に涉つて居る

▽今田植ゑの盛り△

であつた、京城から歩行すると一日半ばかり掛かるとの事である、加平を發し加平川の橋梁を渡ると前面に道を塞いで突立つた屛風の如うな山を寶納山と呼ぶ道は此の山麓に盡きて居るかと思ふと。案外右に若葉の下を穿つて谷を廻ぐり山を越すと忽ち第二の溪谷へ出た再び漢江に逢ふたのである奇なる景、美しい溪が深く遠く眼前に展開した。

◎大嘗宮御用材燒却地決定す

大嘗宮建物三百坪は本月十五六日頃より搬出し京都府下愛宕郡下加茂村加茂川流域出雲橋上流加茂磧にて燒却する事に決定せるが全部の燒却に一週間を要すべく古式に則り造營部殘務委員の手にて燧石の切火を以て點火すと右全部燒却後大嘗宮跡にて淸祓祭を擧行せらる（大阪）

◎御禮飛行
スミス氏妙技を揮ふ

スミス氏は四日青山御所にて東宮殿下の台覽を忝うし特に厚き思召を以て御目録御下賜の光榮に浴したる爲め六日午後三時青山練兵場を發し丸の内日比谷公園の空に飛來し幾度か特に意を盡きて二重橋附近に至り幾度か特殊の妙技を揮ひ青山に歸著せれ[illegible]承はる所に依れば兩陛下は吹上の馬場に御散歩中スミス氏の飛行を上覽遊ばされたりと（東京特電）

◎壯觀を極めたる夜間飛行

スミス氏の夜間飛行は五日夜青山練兵場の高空に行はれしが機の下翼の兩端に仕掛けたる赤色の花火は燦然たる光輝を放ちつゝ浮き揚る之れ正に暗を突いて昇騰せるなり其れより大圓を畫きつゝ三週の後千二百米突の高空に達せし時花火一時に光を失ひ機影暫く闇に沒し去りて爆聲のみ聞ゆ斯くて少時にして赤色の光燦爛として輝き間も無く太く更に長き二條の光芒を天空に投じつゝ逆轉する事十一回に及び雲を蹴つて星を突き旋回する樣の壯觀實に例ふるに物なく飛行十五分にして著陸せり（東京特電）

◎宙返中に墜落
搭乘將校無事

五日午後四時所澤に於て岡、原田兩大尉の宙返飛行演習あり岡大尉は成功せしも第二回目は墜落せしも機體を損傷せしのみにて兩大尉は無事なりし（東京特電）

◎盛夏の候を日本にて過さん
印度詩聖東上

詩聖タゴール氏は五日午後八時三十分東京驛著列車にて入京上野不忍池畔の横山大觀畵伯の邸に入り隨行員のチャンガラ氏は語りて曰く盛夏の候を日本にて過し歐洲戰亂終局せざる時は數箇月滯在し再び日本を經由して印度に歸る豫定なりと（東京特電）

◎漂流中救はる

成南北青郡新浦金康俊（三〇）同李承均（三〇）の兩名は去る五月三十日午後七時頃漁船に乘り馬養島に向ひたるが俄然順風は颶風と變じ怒濤の爲め船は遂に轉覆したるが辛じて兩名は船底に縋りつきたるまゝ沖合に吹き流されつゝあるを聞きたる新浦警察署にては署長指揮の下に數名の巡査を警備ランチに乘込ませ危險を冒し遭難現場に急行し右兩名及び破船を救助し遭難者に對しては直ちに應急手當を施し幸にも生命を救ひ得たりと（元山）

◎木浦沖にて遭難
旺洋丸沈沒す＝行衛不明廿一名

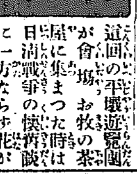
東京村井船舶部汽船旺洋丸（一、八九二噸）は無煙炭二千噸を積み鎮南浦より德山に向け航行中四日午前三時濃霧の爲め牛耳島附近に於て遭難沈沒せり乘組員三十七名の內二十一名生存し他は行衛不明其の他便乘者六名の內一名生存五名は行衛不明となりたり（木浦特電）

◎東亞之光發賣禁止

文學博士井上哲次郎氏が會頭として主宰し常に國民道德の鼓吹に力めつゝある本郷駒込千駄木町東亞協會發行の雜誌「東亞之光」六月號は三日を以て佛國詩工ジュール、ルフエーヴル氏の「眞理」を口繪とした爲め發賣を禁止されたり（東京）

◎黄金館落成式

天然及びエムカシーの營業を一手に引受け居れる活動寫眞常設館黄金館にては共進會內に絢彩を添へたる演藝館の建築材料を用ひて完備せる活動寫眞館を新築したるが來る十日晴雨に拘らず午後一時より盛んなる開館式を擧行し官民一千名を招待すべしと



道回の平壤遊覽團が會場お牧の茶屋に集まつた時は日清戰爭の懐舊談に一方ならず花が咲いた▲中には當時の馬玉昆の精鋭と激戰した人もあればまた元山及び朔寧支隊に從つて牡丹臺下に肉迫した勇者もあつた▲星移り物變つて廿餘年の歳月は夢の間に過ぎたが「何處にもいくらか元の面影がある」と當年の勇士は感慨無量の態であつた▲殊に無佛居士は當年筆を携へて野津軍に從つた思ひ出もあり遥か西方ヨッタルマルクの松山を指して當時勇敢なる支那騎兵が我に突撃して驛程された戰况を語つた▲その時あの向ふの義州街道では敗兵の縊死したものも多かつたが支那兵もそれからそれへ盡きなかつたまた山上から瞰渡した浿江の流れは江心に當時はたか〳〵風強だつた…話は夥多の船を泛べながら遠く平野の末に霞むで居た

運動欄

▼東洋協會柔道大會

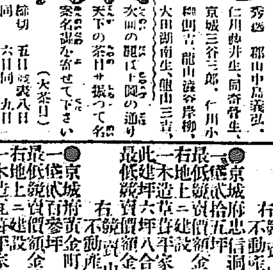
從來春秋二回同校にて開會し來れる柔道大會は來る十八日の日曜午後一時より同校內道場にて第八回大會開催の筈にて醫學專門學校、西小門町鍾路兩警察署、警務總監部、本町道場、明治町道場、龍山道場、鐵道倶樂部等の各道場に對し其々選手派遣招待狀を發したれば同校生徒廿餘名と共に五十組前後の取組成立すべし

讀者文藝（一等には五十錢の金券を呈す）

▲箝め絵 （一）おもちや（三） 京城 井原武夫

秀逸 郡山 中島義弘・仁川 仙井生・同 奇骨生・京城 三谷三郎・仁川 小柳町吉・龍山 海谷岸柳・大田 湖南生・龍山 三吉

次回の題は上岡の通り天下の茶目サ振つて名案名講を寄せて下さい（大茶目）



狂歌『撒水』 締切 五日 發表八日
俗謠『蟻』 同 六日 同 九日
川柳『蟻』 同 七日 同 十日
物は付『餅で見度いものは』 締切八日 發表十一日
一口噺『朝鮮に關して』 締切九日 發表十二日
謎『初夏の清凉里とかけて』 締切十日 發表十三日
次回はめ絵 同十一日 同十四日

■募集規程 △用紙は端書又は同型の洋紙△一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事△賞は一週間後△種類の異る毎に用紙を更ふる事△此規程に遵はぬものは没書

◎取消 拜啓貴社發行京城日報第三千百三十三號（大正五年五月三十日）雜報欄內に『戀しい闖匪』と題し自分が韓飛鎬の金二百四十七圓を掠略したるが爲め檢事局へ突ら出されたる旨掲載有之候處右檢事の取調を受けたるは事實なるも横領云々は全く事實無之從て起訴の手續にも至らざる次第に付き取消又は事實訂正相成度此段申入候也
大正五年六月五日 京城府黄金町三丁目 金知煥

公告
京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

一、京城府公平洞壹番地
垈百八拾參坪
最低競賣價額金八百圓也
右 競賣申立人 東京建物株式會社
不動産所有者 朴宗桓

一、京城府大和町貳丁目八拾參番地
垈百貳拾八坪
最低競賣價額金九百圓也
右 競賣申立人 大關鶴松
不動産所有者 鹽見啓五郎

一、高陽郡龍仁面孔德里（舊京城府龍山面孔德里花龍亭）
畑一千八百壹坪九合九勺
最低競賣價額金貳百四拾九圓也
同所（舊京城府龍山面青坡城溪里）
畑千五百七拾六坪五合七勺五才
最低競賣價額金參百六拾參圓也
同所 畑壹千百參拾六坪
最低競賣價額金貳百六拾壹圓也
右 競賣申立人 朝鮮實業株式會社
不動産所有者 合名會社高橋農園 高陽郡龍仁面東幕下契五七五番地

一、京城府鍾路參丁目參拾八番地ノ壹
最低競賣價額金七圓六拾錢也
右地上ニ建設（參拾五統七戸）
一、瓦葺平家建本家壹棟
此建坪六合九勺五才
最低競賣價額金貳拾七圓五拾錢也
右 競賣申立人 金洛三
不動産所有者 南紀熙

一、京城府鍾路參丁目參拾八番地ノ壹
最低競賣價額金壹千七拾參圓也（一）
右地上ニ建設
一、瓦葺平家建本家壹棟（二）
此建坪五合九勺
最低競賣價額金壹百六拾壹圓也
一、京城府鍾路參丁目參拾八番地ノ貳
最低競賣價額金五百貳拾貳圓也（三）
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟（四）
此建坪五合九勺
最低競賣價額金七拾九圓也
一、京城府鍾路參丁目參拾八番地ノ參
最低競賣價額金六百參拾八圓也（五）
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪參合五勺
最低競賣價額金八拾六圓也（六）
右 競賣申立人 金春成
不動産所有者 張寅淳

一、高陽郡松浦面（舊松山面）德耳洞彌
字新ノ貳 田壹丁七反九畝貳歩
四標 東 路、南 雜地、西 畓、北 山
最低競賣價額金貳百四拾貳圓也
一、同郡同面同洞 字新起
畓壹反九畝參合
四標 東南 路、西 [illegible]、北 徐性淳、金[illegible]
最低競賣價額金參拾八圓也
右 競賣申立人 湯川多吉
不動産所有者 三木熊之助

一、京城府忠信洞參番地
最低競賣價額金拾七圓五拾錢也
右地上ニ建設
一、瓦葺平家建本家壹棟
此建坪八坪六合參勺五才
最低競賣價額金拾七圓也
右 競賣申立人 朴孝駿
不動産所有者 崔紋遠

一、京城府[illegible]
最低競賣價額金貳千六百四拾八圓也
右 競賣申立人 戸谷タミ
不動産所有者 卞基淵

一、抱川郡內村面巢鶴里倉字一〇（一）
三五 四斗落
最低競賣價額金六拾圓也（一八一）
同所 字息耕
最低競賣價額金六圓也（一七九）
一、同所 田半日耕 字七〇
最低競賣價額金參圓也（一五九）
同所 畓壹斗落
最低競賣價額金拾五圓也
字參（一六五）
一、田壹日耕
同所 字九
最低競賣價額金貳圓也 九（一九三）
同所 字壹
最低競賣價額金參圓也 壹（壹參六）
一、田半日耕
最低競賣價額金拾五圓也
右 競賣申立人 李秉憲
不動産所有者 具秉疇
以上競賣期日ハ大正五年六月拾四日午前拾時トス

沒收物品拂下
第壹號 時計用鎖五個外八點
第貳號 夜會計挿五個外拾八點
第參號 時計用鎖五個外[illegible]點
第四號 時計用上六個外拾五點
第五號 指環上壹個外貳拾九點
第六號 同壹個外拾八點
第七號 同壹個外貳拾五點
現品熟覧期日 本月拾四日
入札期日 同月拾五日
右賣却詳細ハ本月五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ
大正五年六月六日 朝鮮總督府

男女簿記生徒募集
銀行會社商店員たらんと欲する者は速に來れ卒業後は確實に就職紹介す
規則書要二錢
京城本町三丁目日ノ出小學校下
京城簿記專修館

新刊書御案内

書名	著者	定價
金屬材料	河合匡	四〇
沙翁警句集	坪內士行	八五
タゴール傑作全集	文正社編輯	一〇〇
四十八手と星取	武侠世界社	三五
小品集泉	田山花袋	五〇
活きて働く商業書簡文	千早正寛	一〇〇
近世建築用材料	野呂長四郎	一七〇
理水及防砂工學本論	諸戸兆郎	一七〇
ペン習字手本及書法	三浦晶東	九〇
ペン習字手本講話	後藤朝太郎 畠中偕夫	八〇
實用ペン習字帖	黒柳勲	二〇
現代商業經濟	大石雄吉	一六〇
コーラー博士特許法原論	小西眞雄	二〇〇
小型發電機製作及取扱法	大日本電氣研究會	一〇〇
蔬菜栽培法	松川二郎	一三〇
宗教々育原論	谷本富	一二〇

大阪屋號書店
京城本町電話二〇八六 振替京城二五七三番

ほまれ味噌
茂木武特許登録
日本醤油株式會社京城出張所
電話二四五番

女鳩

渡邊默禪

(七) 紅いリボン

その男は頭巾のついたマントを著て、カーキ色のゲートルを長々と巻上げた足に草鞋を穿いてゐた。背後から見たところでは身長が普通よりは高く、一體に大きな輪廓をもつてゐた。軈て右の手をぐつと伸した、その手は門口の檐先に著くくらゐの高さに擧つた。

『をや、甚麼するんだらう』

大野は不審して路傍にすてゝあつた荷車の蔭から目を瞬つた。と、檐に五六寸も積つた雪の斷層面に何やら小さな朱い物がちらついてゐた。それが忽ち男の手に移つた。見ると緋色の布をリボン形に割箸の先に結びつけたもので、箸の割目に小さな豆封筒を挿んであつた。男はそれを手早くマントの中に引込めた時に、後をぢろりと回眄つた。大野はハッと思つて體を縮めた。ちやうど雪の黄昏頃、光線が疎かつたのと荷車に小高く何か載せてあつたのとで、幸ひに影をめつからずに濟んだ。その刹那にこちらから見れた男の顏は、眉深になつた頭巾の蔭につゝまれてよくは分らなかつたけれども、色の黑い、底光のする切上つた眼であるといふとだけは印象された。

男は人の居ないのに安心したらしく、つゝと引返して丹波屋の店先から四五碼も離れた横手の楢の木蔭に去つた。そしてマントから取出した箸のリボンと豆封筒だけを抜いて、箸をそこに捨てた。それから封筒を破つて、中から出して紙片を披いて凝然と見てゐた。頓て領くやうにして路の眞中まで踏出して來て、少時丹波屋の家の周圍を偵察する樣子だつた。そのうちに店の中から誰やら村の者が出て來たので、急いで村の方へすたすたと歩いて去つた。

この數分間の短かい事實に大きな疑問の籠つてゐる偶然の發見がどのくらゐ大野の好奇心をそゝつたか知れなかつた。彼は直と其跡を尾けて見ようかとも思つたが、それだけの餘裕を體に持たなかつたので、二歩ばかり引返した足は急に方向を轉じて楢の木蔭に進んだ。そして其處に落散つてあつた箸と、破つた封筒とを拾ひ上げた。

『をやツ、あれだツ、爾うだツ』

思はず呟かずには居られなかつた。自分の持つてゐた新らしい或る記憶が、その二品の面へ明かに浮いて出た。そしてぴつたりと符合した點がいろいろな謎になつて、彼の心をかき亂すべく難かしい疑問を投げかけた。

少時棒立になつて考へてゐるうちに、削刀のやうな鋭さをもつて吹きつけて風に堪へかねて戰慄しながら、急いで二品を服の衣嚢に突込んで、丹波屋の店へ駈込んだ。

見ると、草鞋を脱いで二階の座敷に通つて、小倉袴の上に家重代の奉書紬――大きな五所紋のついた――の羽織を著た學生と、此村の駐在所詰らしい巡査とが來て、次の間に畏りながら恐ろ恐ろ子爵と言を交はしてゐる所だつた。

『おゝ戻つて來たか、御苦勞ぢやつたね。どうぢや、源作は居つたか』

子爵は大野を見ると、待ちかねてゐたやうに坐らぬ先から訊を驅けた。

『居りました』大野は微笑の下に答へて席に著いた。『今晩參るさうです大層悦んだやうでした』

『左樣か、それは好都合ぢやつた。いや大野、困つたことが出來たよ。生駒さ默つといてくれゝばよいに、生駒さんが私の身分を吹聴したもんぢやで、村から駐在所も役場にまで知らしたものぢやさうな。そこで巡査が來て出張するまで護衛をすると言ふとる。こいから今晩は村長に助役が打揃ふて挨拶に來るさうぢや。アハゝゝゝ、迷惑千萬な。一つお前から斷つてくれんか』

『いや、それは大變な騷ぎになりましたなア、ハゝゝ』

金庫 八 京城本町二丁目 熊平支店 長距離電話(京城)六二二四番

南米倉町朝市場通(仁濟病院跡) 内科外科 花柳病 上野醫院 電話二九三四番

▲督府の應接間から

青嵐卓に匿なき應接間

官邸を圍むポプラや青嵐

懊惱消ねて腹の微痛や青嵐

青嵐窓下に聯ね人力車

村烏や雨又近き午下の樹々 公朗

新刊紹介

▲最近犯罪の研究 犯罪は文明の副産物にして之が防止は一に社會政策に俟たざるべからず。ダーヴィンの進化論は思想界に一大革命を生じ犯罪に對しても亦各種の科學的研究の勃興を見るに至り新刊法は遂に犯罪の豫防を主とする所に轉じ刑事政策上犯罪を豫防するの主義となれり。本書は法學博士ドクトル羽太鋭治〔illegible〕氏の共著にして犯罪學、法學、心理學、人類學、社會學、教育學の各方面より一般的には犯罪の原因動機要素及び方法を究め特殊的には犯罪者の體格及び其の心理を内外幾多の事實と統計とに照らして詳細に研究せるものにして遺傳、精神論及び〔illegible〕の最も意を用ひたるものは少年犯罪及び婦人犯罪なりとす。近時社會問題となれるもの曰く婦人萬引問題、曰く不良少年少女取締問題、曰く活動寫眞取締問題、曰く私娼撲滅問題、曰く何れも總て之が少年及び婦人に關する問題にして刑事家及び法律家の最も考究を要するものなると同時に一般家庭の深く注意を必要とする問題にして遺傳及酒精の犯罪に重大なる關係を有するが如き實に因果報應の〔illegible〕

▲花道(七の五) 十七錢 東京市京橋區南小田原町二の九大日本華道會

▲關西農報(二八) 十錢 大阪市北區上福島町一の八共社

▲兒童研究(十九の十一) 十六錢 東京市本郷區西片町一〇兒童研究發行所

▲東華評論(一の十七) 十錢 北京東城〔illegible〕二六共社

▲戰友(六月號) 七錢 東京市麴町區飯田町二の五二帝國在郷軍人會本部

▲茶業界(六月號) 十錢 靜岡市追手町二〇九の二共發行部

▲ローマ字(十一の六) 十二錢 東京市麴町區有樂町一の三ローマ字ひろめ會

▲ゼ、ユース(五の三) 十二錢 東京市麴町區内幸町一の四ジャパンタイムス學生號出版所

▲東京藥種貿易商報(二三四) 五錢 東京市日本橋區本石町四の一七共社

▲ゼ、ジャパン、タイムス、スチューデント、エヂション(五の二〇) 十錢 東京市麴町區内幸町一ジャパンタイムス學生號出版部

▲ニコノ(六月號) 二十錢 東京市麴町區有樂町三の三共俱樂部

▲獨立公論(五月號) 十錢 布哇ホノルル市ヌアヌ街キャンベルブロック一四共社

▲文章俱樂部(一) 十錢 東京市牛込區矢來町中の丸新潮社

▲農家(六月號) 本號には優良農業團體の紹介あり(十錢 東京市小石川區〔illegible〕)

▲海紅(六月號) 本號には碧梧桐の季題に關する疑問江田具雄の新傾向の意義を論ずる等あり(二十四錢 東京市下谷區上根岸七四共社)

▲書畫骨董雜誌(九六) 日蓮伊達家入札品數點及び配本東山義政公の書畫細川男、秋月子其他の話柄田保之助、東西兩京の美術〔illegible〕下村正兼錦苑の話〔illegible〕(十八錢 東京市芝區南佐久間町一の三共社)

▲東亞之光(十一の六) 水野法學博士の「軟化に就て」志田文學士の「小泉八雲」の作質に就て〕〔illegible〕

▲公私經濟(二の六) 英國は寶へ米國は興へん、太平洋上の船合戰の將來、〔illegible〕日本石油會社、鉄道國〔illegible〕(十五錢 東京市麴町區内幸町一の五共社)

▲國語教育(一の六) 國語教育上の二〇好個の〔illegible〕(二十五錢 東京市小石川區〔illegible〕)

▲學校教育(三二) 學校教育の〔illegible〕(十八錢 東京市日本橋區本石町三 寶文館)

▲實業之世界(六月號) 府縣〔illegible〕他の通り(十三錢 東京市麴町區有樂町一の四共社)

▲大陸(三週年紀念號) 内容月と共に豐富〔illegible〕名士の寄稿〔illegible〕(二十五錢 大連市〔illegible〕町三の一〇八)

讀者の領分

▲近所の話や評判問題で公德論が一時盛であつたが何うなつたのか。其何とも云ふものがない之れだから京城の人の公德心も一時的だと云ふのだ(差配人)▲此頃琵琶界も頓と衰微したものと見ねて以前程振はぬ樣な其れも喧嘩がないからですか喧嘩がなくて振はぬとすれば一層喧嘩して大に振はすが好い(旭會者)▲藤八拳同好の諸士よ來る十日午後一時より永樂町二丁目赤門俱樂部に集る事に交涉せり同席上に於て萬事協議すべし御繰合せ御出席ありたし(無所屬拳士)▲去る三日夜一時半頃旭町一丁目京駒へ前刑事なりと稱し洋服姿二人連れの男來り嬌言を吐き附近の人々は安眠を妨害され大に閉口せり前職を以て人を脅迫する者へなりしか(目擊生)

大阪株式特電

(六日前場引)

合同紡績 ……

內外綿〔illegible〕 ……

同上新株 ……

東洋精糖 ……

大阪商船 ……

〔illegible〕 一六八、九〇

一四七、四〇

六月限 一三一、五〇 一三一、五〇

九月限 ……

十月限 一三一、七〇 一三一、六〇

十一月限 一三一、六〇 一三一、六〇

寄付 高値 安値 止め

一三一、三〇 一三一、二五 一三一、三〇

▲綿動少〔illegible〕

▲現物界 〔illegible〕

(六日の八月限)

寄付 十一圓九十七錢

止 十一圓九十七錢

六月限 千八百石

七月限 三萬百五十石

八月限 一萬七千六百石

男の生殖器病

生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖、早漏、遺精、夢精、勃起不完全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱で自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用する時は回毎に効力現はれ像想外の偉効に中ると知名博士も其實驗を說明し實驗諸氏の賞讃が如しガキで申込めば一圖入說明書無代で送ります直接來社者には醫師親切に說明す

東京神田區今川小路二丁目 ▲商評益高きに贋品あり 東京眞空療法研究所 電話神田七三二番

生存機能に必要缺くべからざる 滋養 補血 フェロール FERROL 醫家推奬 益々盛なり 美味芳香・病者に最も適當 ▲大瓶小瓶の二種あり ●賣捌は各藥店に 本舗 大阪道修町二 小西久兵衛 賣捌なきは本舗へ注文あれ

内科 小兒科 京城本町二丁目(瓦斯會社向側) 芙蓉醫院 醫學士 森定吉 電話二六三番

一滴で一日爽快となる ツバメ香水 世界百花の精を集めた清新な薫りは意氣で高尚で何人にも愛用せらる。 丹平商會發賣 ツバメ香水

帶革各種 パッキング ビッカー 生皮商事 綴革組金具 其他工業用諸革 品質保證在庫豐富 朝鮮總代理店 鐵商 白神洋行 仁川本町四丁目 定價表御一報次第送呈

格安 露國製硝子板 直輸入 朝鮮一手販賣 御照會次第見本 滿洲安東縣 竹本硝子店 電話一三三番(本店) 一四二番(支店)

醬油の撰擇を誤るは年中の損

試み給へ關東唯一の絶品キハク醬油

醸造高全國に冠たり年額六萬二千石

最大の醸造高は最大の購買力に基けり

最大の購買力は品質優越の實證

最上醬油 (キハク印)

下總國野田町 茂木七郎右衛門醸造

特約店 明治町一丁目 牧野商店 電話二五三番

ルーデサック 一個十錢 A 十個八十錢 六個四十錢 以上女用一個廿五錢 一個廿錢 外に送料郵券代用一割増 京城黃金町三 山川文祥堂製作所

花柳病專門藥 ●一週間分 梅毒 淋病 普通金壹圓 持製金貳圓 特製金貳圓五拾錢 自宅療法書無代進呈 本劑は我商會が多年の實驗と最新の醫學とにより新研究を依頼し有名なる學理に基き合し治療の理的療法を以て病患の完全なる最新良藥なり 京東 ドラッグ商會 京城永樂町二丁目北 滿鮮本部 類似品あり花柳病には東京ドラッグの製劑に限る

大邱浦項間自動車時間 上り 下り ……(大邱發・浦項發 各時刻) 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

金泉醴泉間自動車時間 上り 下り 金泉發 醴泉發 …… 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番 ▲小荷物運搬仕り候

日本郵船仁川出帆

大連、大沽、牛莊行 相模丸 七月五日 正午出帆 / 高砂丸 六月十二日 正午出帆 / 三河丸 六月廿四日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 堀回漕部 電話十一番

大阪商船仁川出帆

○外航航路(連絡航路を除く)南北韓航路乘船の時は五分前を以て締切候間御注意被下度候

群山、木浦、釜山、關門、神戶大阪行 天草丸 六月十二日 / 濟州丸 六月十五日 / 安東丸 六月十八日 後五時出

木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 大智丸 六月九日 / 安東丸 六月 日 後二時出

木浦、釜山、巖原、鄉の浦、長崎行 信濃川丸 六月十六日 / 信濃川丸 七月 日 後二時出

鎭南浦、大連行 信濃川丸 六月十一日 / 信濃川丸 六月廿九日 後二時出

大連直行 潮州丸 六月八日 / 福州丸 六月十八日 正午出帆

群山、釜山、横濱行 潮州丸 六月十三日 / 福州丸 六月廿三日 後二時出

淸津、浦潮行(元山出帆) 印、城津、西湖津ニ寄港 須磨丸 六月八日 / 安平丸 六月十四日 後二時出 浦潮不寄港

上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 六月十七日 後四時出

御注意 ○印は朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前無賃送迎可致候 ○×印は一等客御斷り△印は貨客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番 京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番 ▲小包四國沿岸各港行貨物に對し當分門司、下關にて五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 大正丸 六月十四日 後四時出帆 / 大有丸 六月十九日 後四時出帆 / 神代丸 六月十八日 後四時出帆 / 秀吉丸 六月十二日 後五時出帆 / 君が代丸

仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行 立神丸 六月廿三日 後五時出帆

元山、清津、浦鹽行 立神丸 六月 日 後十時出帆

門司、神戶、大阪行 小倉丸 六月 日 後五時出帆

元山、城津、浦鹽行 小倉丸 六月 日 後十時出帆

元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三平安丸 六月 日 後六時出帆

門司、宇品、神戶、大阪行 第三平安丸 六月 日 後六時出帆

住吉、須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

關東都督府命令船 ○芝罘、大連行 第六共同丸 六月七日入港 同日出港 六月九日

朝鮮總督府命令航路 大連にて南滿洲鐵道會社に接續、青島行定期船と連絡、日本沿岸各港とも連絡取扱仕候

○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出

○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸(元山出帆) 月 日前八時出

阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部 元山代理店 仁山町(電話二四四七番) 田口回漕部 京城取次店 南大門(電話二六〇二〇七) 河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二一三一番 京城南大門驛前 松原運送店(電話長二一七〇番) 鐵道會社及社外船と荷客連帶輸送の便あり詳細は支店出張所、代理店、商客取扱所へ御照會を乞ふ

○全羅丸 六月十一日 / ○京畿丸 六月廿一日 / ○黃海丸 六月 日 / ○咸鏡丸 六月十五日 門司より釜山各港寄港城津間航路 釜山發

○穩城丸 六月 日 / ○昌平丸 六月 日 / ○鏡城丸 六月 日 元山より各港經由雄基行 元山發

○忠清丸 六月十九日 / ○平安丸 六月十二日 城津、清津經由浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行 元山發

○永興丸 毎月廿八回 北久味、五里浦行 元山發

○咸德丸 六月 日 浦、九龍里、浦項各港寄港隱岐島行 釜山發

○江陵丸 / ○咸陽丸 毎日 長生浦方魚津寄港 浦項、釜山發

○三浦丸 六月 日 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港 釜山發

○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 各港經由麗水行(三日目一回水浦行) 釜山發

○順天丸 三日目毎ニ 各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續 木浦發

○公州丸 六月十日 各港經由濟州島行(四回) 木浦發

○公州丸 六月十五日 南多島海列島行(月三回) 木浦發

○慶興丸 六月八日 各港經由濟州島行(東廻) 木浦發

○宗信丸 六月十日 海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行 仁川發

○江原丸 六月 日 青丹、大津、芝栄行 仁川發

○麗水丸 六月十日 / ○晋州丸 六月 日 各港經由木浦行 仁川發

○錦江丸 / ○南陽丸 毎日午前 江華島、喬桐島、海州行 仁川發

○平安丸 往航 六月七日 大黑山、木浦、門司、若松行 復航 六月十二日 門司、木浦、群山行 群山發 若松發